平成 30 年度　群馬県立館林美術館年報

2018.4 - 2019.3

GMAT

Gunma Museum of Art,
Tatebayashi

群馬県立館林美術館

目次

・展覧会　p.3

A 展覧会一覧 ―― p.3
B 企画展示記録 ―― p.4
C コレクション展示記録 ―― p.45
D 彫刻家のアトリエ（別館）展示記録 ―― p.50
E 入館者数一覧表 ―― p.51

・教育普及　p.52

A 講演会・トークイベント ―― p.52
B 作品解説会、たてび☆キッズウォーク、ポンポン・ツアー ―― p.53
C ワークショップ ―― p.54
D 創作体験コーナー　みんなのアトリエ ―― p.55
E たてび☆びじゅつ部 ―― p.55
F たてび土曜レクチャー ―― p.56
G その他イベント ―― p.57
H 他団体への協力 ―― p.58
I 学校連携その他 ―― p.59
J 地域に開かれた美術館づくり ―― p.64
K 刊行物 ―― p.65
L ボランティア ―― p.66
M 友の会 ―― p.66

・所蔵資料　p.67

A 美術作品 ―― p.67
B 図書資料その他 ―― p.73

・関係者および職員名簿　p.74

展覧会

A 展覧会一覧

(1)企画展示

展示名	会期	会場	内容
アート遊覧紀行	4/28～6/24	展示室1～4	寄託作品を含む館林美術館コレクションを、展示室1～4全室を使い、60名を超える作家による約200点の作品を「人」「動物」「自然」の3つのテーマに分けて紹介した。
日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念　デンマーク・デザイン　北欧発、豊かな暮らしのかたち	7/14～8/26	展示室2～4	デンマーク・デザイン博物館の学術協力のもと、デンマークの近代から現代までのデザイン史を約200点の作品で辿る、日本初の展覧会であった。
時代に生き、時代を超える 板橋区立美術館コレクションの日本近代洋画1920s-1950s	9/15～12/24	展示室2～4	板橋区立美術館の全面的な協力のもと、昭和の前衛美術を核とする同館のコレクション作品112点を一堂に展示した。加えて当館と群馬県立近代美術館のコレクションから、県出身作家5名による13点もあわせて展示した。
エキゾティック×モダン 異境への眼差し	1/22～3/31	展示室2～4	フランス所蔵の国内初公開作品を含む、衣装、ジュエリー、家具や工芸品、雑誌・ポスター、彫刻、絵画など、国内外の作品約90点を通して、アール・デコにおける異境への眼差しを見ていった。

(2)コレクション展示

展示名	会期	会場	内容
近現代の彫刻Ⅰ 近現代の彫刻、どこから見るか？	7/14～8/26	展示室1	彫刻を見る視点に注目し、フランソワ・ポンポン、バリー・フラナガン、森亮太などの近現代彫刻を展示した。
小学生木版画展関連 コレクションコーナー　藤牧義夫	7/14～8/26	展示室4	木版画家・藤牧義夫を記念する「小学生木版画展」開催にちなみ、所蔵の藤牧義夫の木版作品を展示した。
近現代の彫刻Ⅱ －トランスフォーム	9/15～12/24	展示室1	フランソワ・ポンポン、ヘンリー・ムーア、バリー・フラナガンなどの近現代彫刻を展示した。
近現代の彫刻Ⅲ	1/22～3/31	展示室1	フランソワ・ポンポン、森亮太、和南城孝志などの近現代彫刻を展示した。

B 企画展示記録

1. アート遊覧紀行

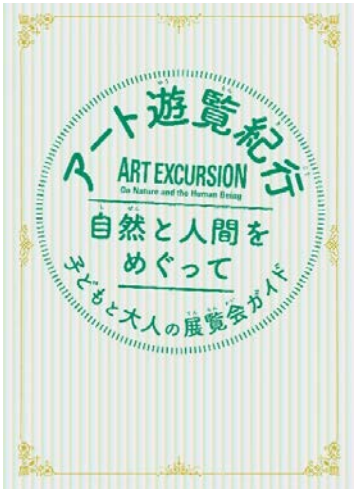
会期　　平成30年4月28日(土)～6月24日(日)
会場　　展示室1、2、3、4
主催　　群馬県立館林美術館
観覧料　一般410円(320円)、大高生200円(160円)
　　(　)内は20名以上の団体割引料金

2001年の開館以来「自然と人間の関わり」をテーマとした作品収集や展覧会活動を行ってきた当館は、群馬県で2館目の美術館として、豊かな自然に囲まれた環境のなか、特徴を持った美術館となることを目指して収集した油彩、彫刻、版画などのコレクションは現在940点ほどとなり、近現代美術のユニークな作品が揃っている。

今回は、寄託作品を含む館林美術館コレクションを、展示室1～4全室を使い、60名を超える作家による約200点の作品を「人」「動物」「自然」の3つの具体的なテーマに分けて紹介した。コレクションへの理解を深めてもらうため、展示作品は見て分かりやすい作品や印象的な作品を多く選定した。本展では、アーティストの表現する作品世界をめぐることを旅になぞらえ、新しい作品との出会いや懐かしい作品との再会など、来館者にとって、美術館のなかを旅するように様々な表現と出会う機会となることを目指した。

本展では図録は作成しなかったが、代わりに主な作品を紹介するジュニアガイドを作成し、無料で配布した。また、作品理解を深めるためのイベントとして、学校向け教材アートカードを利用した鑑賞体験イベントや、コレクション画像を活用した創作体験イベントを実施し、好評であった。

ポスター



ジュニアガイド

出品目録
※所蔵は全て群馬県立館林美術館

第1章　動物たちの世界へ

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横または 高さ×幅×奥行	備考
1	フランソワ・ポンポン	ラクダ	1906-30	ブロンズ	15.6×23.0×6.0	
2	フランソワ・ポンポン	雌豚	1918	ブロンズ	11.0×20.0×5.5	
3	フランソワ・ポンポン	ヒグマ	1918-26	ブロンズ	9.2×15.8×7.0	
4	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910-12	ブロンズ	19.8×23.4×10.7	
5	フランソワ・ポンポン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0×8.7×9.5	
6	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923-33	白色大理石	24.7×45.5×11.7	
7	フランソワ・ポンポン	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927-28	ブロンズ	12.5×20.8×8.0	
8	フランソワ・ポンポン	オラン・ウータン(頭部)	1930	石膏	34.3×23.0×20.0	
9	フランソワ・ポンポン	大黒豹	1930-31	ブロンズ	25.0×81.0×14.0	
10	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4×38.0×26.6	
11	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0×122.0×112.0	
12	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5×104.1×62.2	
13	ヘンリー・ムーア	羊	1960	ブロンズ	19.8×24.0×11.3	
14	ヘンリー・ムーア	後ろ足で立つ馬	1972	ブロンズ	20.0×9.0×7.0	
15	イサム・ノグチ	リス	1984-88	ブロンズ板	61.0×48.0×39.0	
16	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5×32.2×30.0	
17	土谷武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0×130.0×160.0	
18	三輪途道	猫の抜け道	2005	漆、膠、顔料・檜	25.0×68.0×14.0	寄託作品
19	三輪途道	発電所のなめくじ	2005	漆、膠、白土、顔料・檜	5点組	寄託作品
20	勅使河原蒼風	群れ	1953	鉄	103.0×184.0×57.0	寄託作品
21	エマニュエル・コラン	ジュゴン	1991	着色・樅、ポプラ	30.0×140.0×55.0	
22	エマニュエル・コラン	大きなアザラシ	1991	着色・樅、ポプラ、ブナ	38.0×180.0×90.0	
23	スタニスラフ・リベンスキー ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ	鳥	1997	ガラス	72.0×123.0×25.0	
24	カレル・アペル	飛ぶ魚	1977	彩色・木	53.3×80.0×18.0	
25	カレル・アペル	サーカス・シリーズ:鳥の道化	1978	彩色・木	83.8×89.0×18.0	
26	トム・シャノン	ドルフィン・ファイ	2003	木、磁石、ワイヤー	154.0×226.0×86.0	
27-32	パブロ・ピカソ	真夜中の馬たち	1956	ドライポイント、ビュラン・紙	31.0×22.0	
	パブロ・ピカソ	ビュフォン『博物誌』より	1936-42 (1942刊)	アクアチント、エッチング、ドライポイント・紙	36.5×28.0	
33		馬				
34		雄牛				
35		猫				
36		犬				
37		山羊				
38		ライオン				
39		猿				
40		シロワシ				
41		母雌鳥				
42		蝶				
43		伊勢エビ				
44		ヒキガエル				
	J.-J.グランヴィル	『当世風変身譚』より	1854	木口木版、手彩色・紙(書籍)	26.0×16.0	
45		自然の摂理に基づく結婚				
46		新たなる音楽言語、もしくは音楽愛好クラブにて交響曲を演奏するアマチュアの集まり				
47		水泳教室				
48		法に基づく結婚				
49		住みかを得た野兎				
50		歌のコンサート				

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横または 高さ×幅×奥行	備考
51		小学生－直接法現在：私は退屈する。先生－君は退屈する。小学生－あなたは私を退屈させる…。先生－そうではありません。小学生－私たちは退屈する、あなたは私たちを退屈させる。				
52		あー、つかまえた、私のかわいいウサギちゃん				
53	永井一正	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE(オオカミ)	1993	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	作者寄贈
54		KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE(シカ)	1993	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	作者寄贈
55		KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE(ライオン)	1993	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	作者寄贈
56		KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE(サル)	1993	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	作者寄贈
57		KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE(ゾウ)	1993	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	作者寄贈
58	猪熊弦一郎	猫と魚	1953-54	油彩・カンヴァス	60.5×50.0	
59	猪熊弦一郎	馬と鳥	1955	グワッシュ・紙	59.5×42.5	
60	猪熊弦一郎	猫と二人の子ども	1952	油彩・カンヴァス	90.7×72.5	
	アンディ・ウォーホル	『危機に瀕した種』	1983	シルクスクリーン・紙	96.5×96.7	
61		アフリカ象				
62		白頭ワシ				
63		ロッキー羊				
64		クロサイ				
65		ジャイアントパンダ				
66		グレーヴィーシマウマ				
67		オランウータン				
68		アンダーソンアマガエル				
69		サンフランシスコ・シルバースポット				
70		シベリアタイガー				

第2章　人物の表現、あれこれ

71	フランソワ・ポンポン	コゼット	1888	ブロンズ	41.0×18.0×13.0	
72	高田博厚	海	1962	ブロンズ	77.0×34.0×29.0	小林進氏寄贈
73	佐藤忠良	男の顔	1965	ブロンズ	32.5×20.0×23.0	小林進氏寄贈
74	林茂樹	OO-XⅧ	2017	陶器	43.0×80.0×36.0	寄託作品
75	チュスラフ・ズベール	ターコイズ・フォレスト	1994	ブロンズ、ガラス	46.0×51.0×35.0	
76	勅使河原蒼風	ミコ	1967	銅	96.0×49.0×25.0	寄託作品
77	掛井五郎	人間の問題研究Ⅲ 四つの足	1985	ブロンズ	100.0×96.0×30.0	寄託作品
78	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ	11.4×7.4×5.7	
79	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981	ブロンズ	23.7×5.9×7.6	
80	アーブラハム＝ダーフィット・クリスティアン	清らかな人XI	1982 (1986鋳造)	ブロンズ	166.2×57.8×28.0	
81	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951	スチール・ロッド	79.0×110.5×158.5	
82	パウル・クレー	子どもたち	1929	水彩、木炭・紙	27.5×33.5	
83	鶴岡政男	眠る人	1976	油彩・カンヴァス	33.0×45.5	
84	鶴岡政男	春の野	1976	油彩・カンヴァス	33.0×45.5	
85	森芳雄	母子像	1979	油彩・カンヴァス	130.0×97.5	
86	三輪途道	下仁田－おじい	2003	漆、膠、顔料・檜	79.0×59.0×64.0	寄託作品
87	三輪途道	下仁田－おばあ	2003	漆、膠、顔料・檜	83.0×50.0×56.0	寄託作品
88	藤牧義夫	朝	1932	木版・紙	12.0×9.7	
89	藤牧義夫	島のぢいさん	1933	木版・紙	14.4×9.4	
	ジャン・デュビュッフェ	ウージェーヌ・ギュヴィック『壁』より	1945	リトグラフ・紙	38.4×29.2	
90		(扉絵)壁と人間	(1950刊)			
91		Ⅳ壁を通り過ぎる人				

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横または 高さ×幅×奥行	備考
92		Ⅴ壁の前でダンス				
93		Ⅸ壁と旅人たち				
94		Ⅺ 壁と倒れている人				
95		Ⅻ 壁と通告				
	マルク・シャガール	ポエム	1962-67	木版・紙	37.0×27.6	
96		Ⅰ 扉	(1968刊)			
97		Ⅱ 野蛮人のように				
98		Ⅶ この佳き日を				
99		XXⅢ 道				
100	白石綾子	room of womb	2010	アクリル、油彩、パネル	120.0×120.0	寄託作品
101	日野之彦	見つめ合い	2011	油彩・カンヴァス	91.0×91.0	寄託作品
102	松井冬子	同世代のエジプト人	2007	鉛筆・紙	43.7×36.7	寄託作品
103	松井冬子	トトメス4世	2007	鉛筆・紙	36.2×44.1	寄託作品
104	奈良美智	Untitled	1990	アクリル・紙	49.3×34.2	寄託作品
105	町田久美	赤い衣装	2010	青墨、岩絵具、顔料・雲肌麻紙	22.8×16.5	寄託作品
106	町田久美	鞭	2012	鉛筆、色鉛筆、オイルパステル・和紙	30.0×21.0	寄託作品
107	加藤泉	無題	2000	油彩・カンヴァス	40.7×24.0	寄託作品
108	加藤泉	無題	2009	油彩・カンヴァス	33.3×24.0	寄託作品
109	加藤泉	無題	2017	ソフトビニール、金属	60.0×17.0×8.0	寄託作品
110	西尾康之	立像	不詳	ファイバープラスター	77.5×36.0×12.0	寄託作品
111	籔内佐斗司	縁結び童子	2013	ブロンズ	13.0×8.0×8.0	作者寄贈
112	上根拓馬	27ガーディアンズ 大弁功徳天	2010	エポキシ樹脂、レジンキャスト	30.0×15.0×15.0	寄託作品
113	上根拓馬	12ガーディアンズ no.2 伐折羅大将	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト、ミクストメディア	30.0×15.0×15.0	寄託作品
114	上根拓馬	28ガーディアンズ密遮金剛 no.2	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト	55.0×25.0×25.0	寄託作品
	エドワード・バーン＝ジョーンズ	『フラワー・ブック』より	1882-98	リトグラフ、手彩色・紙	32.0×25.2	
115		ヤコブの梯子	(1905刊)			
116		天国のバラ				
117		神の花				
118		黄金の杯				
119		金の門				
120		ベツレヘムの星				
121		朝の栄光				
122		黒い大天使				
123		散りはこべ				
124		白い庭				

第3章　自然の表現へ

	ジム・ダイン	『フローラの神殿』より	1984	ドライポイント・紙		
125		アイリス				
126		スノードロップ				
127		アツモリソウ				
128		スタペリア				
129		エジプト睡蓮				
130		カーネーション				
131		ヒアシンス				
132		ブルー・パッション・フラワー				
133 -142	アンディ・ウォーホル	花	1970	シルクスクリーン・紙	91.5×91.5	
143	カール・ブロスフェルト	ヤグルマギクの花	1920代 (モダンプリント:2005)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横または 高さ×幅×奥行	備考
144	カール・ブロスフェルト	ヒエンソウー乾いた葉の一部	1920代 (モダンプリント:2003)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	
145	カール・ブロスフェルト	オシダー渦巻状の若い複葉	1920代 (モダンプリント:2001)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	
146	カール・ブロスフェルト	マメー若い羽状複葉	1920代 (モダンプリント:2000)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	
147	カール・ブロスフェルト	分枝	1920代 (モダンプリント:2001)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	
148	カール・ブロスフェルト	オオムギ	1920代 (モダンプリント:2003)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	
149	カール・ブロスフェルト	ヒヨスの蕚	1920代 (モダンプリント:2001)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	
150	カール・ブロスフェルト	コエルピニアの種子	1920代 (モダンプリント:2000)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	
151	カール・ブロスフェルト	ニワトコ	1920代 (モダンプリント:2005)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	
152	カール・ブロスフェルト	マツムシソウの種子	1920代 (モダンプリント:2000)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	
153	ニルス＝ウド	ナラの葉	1986	イルフォ・クローム	100.0×100.0	
154	小瀬村真美	四季草花図	2004-06	映像		群馬県立館林美術館友の会寄贈
155	小絲源太郎	けしの花	1933	油彩・カンヴァス	114.4×77.2	
156	モイーズ・キスリング	青い花瓶のミモザ	1948	油彩・カンヴァス	62.0×74.0	
157	香月泰男	尾花	1954	油彩・カンヴァス	72.8×50.5	
158	近藤正勝	Eerie tree by the lake	2006	油彩・カンヴァス	195.0×142.0	
159	伊庭靖子	Untitled	1998	油彩・カンヴァス	183.0×393.0	
160	山田純嗣	10-11 FLOWERS	2010	印画紙にインタリオ・オン・フォト、樹脂、パールペイント・ポリコートパネル	65.0×65.0	寄託作品
161	西村盛雄	甘露の雨 マナ10	2002	木	65.0×160.0×207.0	
162	西村盛雄	甘露の雨 マナ9	2002	木	37.0×220.0×220.0	寄託作品
163	西村盛雄	無題	2004	蓮の葉、紙	185.0×185.0	
164	日高理恵子	空との距離 Ⅲ	2004	岩絵具・麻紙・パネル		
165	山口啓介	花の心臓／炭素原子モデル	2003	顔料、樹脂、自家製樹脂、アクリル・カンヴァス	270.0×181.0	寄託作品
166	山口啓介	花の心臓／被子植物の空気柱	2003	顔料、樹脂・カンヴァス	270.0×181.0	
167	金田実生	夜が少しづつ降りる	2005	油彩・紙	154.0×166.0	
168	吉村正郎	Air Cloth-9-	1996	絹、木綿糸	70.0×70.0×70.0	
169	マリア・ルゴッシー	Power of Nature Ⅵ	1994-96	サンドブラスト、合わせガラス	51.4×28.2×21.6	
170	森亮太	波	1990	黒御影石	33.0×51.0×8.0	柴田留理子氏寄贈
171	鶴岡政男	太陽	1968頃	パステル・紙	27.0×38.3	
172	鶴岡政男	静かなる夜(山と月と湖)	1955	油彩・カンヴァス	53.0×65.2	
173	山口薫	森	1936	油彩・カンヴァス	72.0×60.6	
174	山口薫	水田を拓く	1956	油彩・カンヴァス	100.0×80.5	
175	金山平三	嬬恋村	1935-45	油彩・カンヴァス	45.5×65.1	
176	久野和洋	地の風景・道のかたち	2002-03	油彩・カンヴァス	145.5×145.5	作者寄贈
177	久野和洋	地の風景・雨後	2006-07	油彩・カンヴァス	145.5×112.0	作者寄贈
178	松江泰治	CANARY 1993 #35	1993	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.8	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横または 高さ×幅×奥行	備考
179	松江泰治	NEW ZEALAND 1996 #22	1996	ゼラチン・シルバー・プリント	44.9×55.7	
180	松江泰治	MOROCCO 1997 #9	1997	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.7	
181	松江泰治	TEXAS 1999 #61	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.7	
182	松江泰治	ALTIPLANO 2000 #19	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.7	
189	安田千絵	Untitled	1997	ゼラチン・シルバー・プリント	34.5×34.5	
190	安田千絵	Untitled	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	34.5×34.5	
191	安田千絵	Untitled	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	34.5×34.5	
192	安田千絵	Untitled	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	34.5×34.5	
193	安田千絵	Untitled	2001	ゼラチン・シルバー・プリント	34.5×34.5	
194	安田千絵	Untitled	2001	ゼラチン・シルバー・プリント	34.5×34.5	
195	安田千絵	Untitled	2002	ゼラチン・シルバー・プリント	34.5×34.5	
196	戸谷成雄	景体のバロック	2002	木(間伐材)、灰、アクリル	8点組 200.0×55.0×39.0 200.0×73.0×61.0 200.0×48.0×39.0 200.0×69.0×53.0 200.0×59.0×57.0 200.0×64.0×32.0 200.0×52.0×42.0 200.0×73.0×54.0	
197 -204	戸谷成雄	《景体のバロック》のための ドローイング 全16点のうち8点	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	

◎印刷物・会場作成物

・ポスター　B2
・チラシ　A4
・ジュニアガイド　A5版　16頁
編集・発行：群馬県立館林美術館
デザイン：栗原幸治(クリ・ラボ)
制作：株式会社　印象社

・パネル
挨拶2枚、章解説3枚、テーマ説明10枚
・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事
(長文記事は末尾に＊、県内の媒体のみの記事は省略)
〔新聞等〕
・朝日ぐんま
6.8
「アート遊覧紀行―自然と人間をめぐって―」＊(学芸員 熊谷ゆう子)
〈文化紀行〉
・とちぎ朝日
5.18
「群馬県立館林美術館 ■展覧会「アート遊覧紀行～自然と人間をめぐって」」〈展覧会ガイド〉＊
・産経新聞
6.3
「アート遊覧紀行 人・動物・自然に癒やされ」〈アート美〉＊
・上毛新聞
4.16
「コレクション展 アート遊覧紀行～自然と人間をめぐって～」〈先どりピックアップ！〉
4.18
「感じた自然描く 自然の感覚を絵にしよう」〈募集〉
5.9
「「自然と人間」アート展」
5.22
「「アート遊覧紀行」展より① フランソワ・ポンポン《シロクマ》」〈アートを愉しむ〉＊
5.23
「「アート遊覧紀行」展より② 永井一正《KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE(ライオン)》」〈アートを愉しむ〉＊
5.24
「「アート遊覧紀行」展より③ パウル・クレー《子どもたち》」〈アートを愉しむ〉＊
5.25
「「アート遊覧紀行」展より④ 金田実生《夜が少しづつ降りる》」〈アートを愉しむ〉＊
5.26
「「アート遊覧紀行」展より⑤ 戸谷成雄《景体のバロック》」〈アートを愉しむ〉＊
・上毛新聞 シャトル
5.10
「「自然と人間」テーマ　企画展示「アート遊覧紀行～自然と人間をめぐって～」」〈イベント情報〉
5.17
「県立館林美術館 特別展示「アート遊覧紀行～自然と人間をめぐって～」異なる表現 堪能して」＊〈たてびアート散歩〉
・読売新聞
5.18
「アート遊覧紀行―自然と人間をめぐって―」〈ギャラリー〉
・ビバ！アミーゴ
4.20
「企画展「アート遊覧紀行」」〈Event Information〉
・両毛新聞
4.27
「アート遊覧紀行 群馬県立館林美術館」＊

〔定期刊行物〕
・ギャラリー
5月号
「アート遊覧紀行～自然と人間をめぐって～」〈今月の展覧会〉
・raifu
4月号、5月号、6月号
「群馬県立館林美術館」〈Art&Stage Event〉

◎関連事業
・ワークショップ
5.26
「自然の感覚を絵にしよう」
講師：金田実生
・アートカードで遊ぼう
5.5、6.16
・学芸員による作品解説会
5.12、5.30、6.9
・たてび☆びじゅつ部
5.20、6.10
「プラ板で動物ストラップを作ろう」
・たてび☆キッズウォーク
5.5、6.16

展示室1

展示室2

展示室3

展示室4

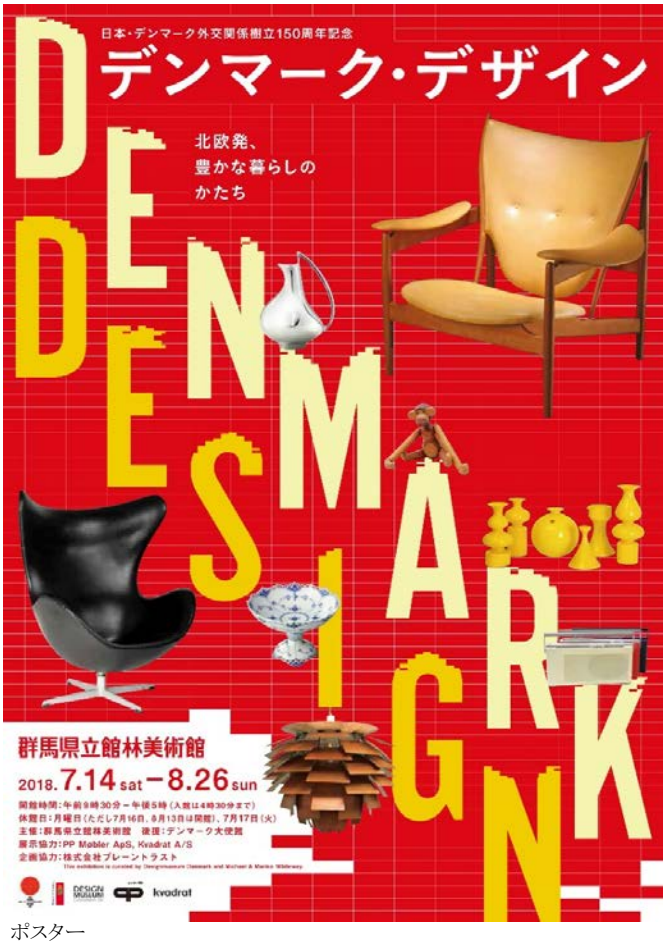
2. 日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念　デンマーク・デザイン　北欧発、豊かな暮らしのかたち

会期　　平成30年7月14日(土)～平成30年8月26日(日)
会場　　展示室2、3、4
主催　　群馬県立館林美術館
後援　　デンマーク大使館
展示協力　PP Møbler ApS , Kvadrat A/S
企画協力　株式会社ブレーントラスト
観覧料　　一般820円(650円)、大高生410円(320円)
　　(　)内は20名以上の団体割引料金

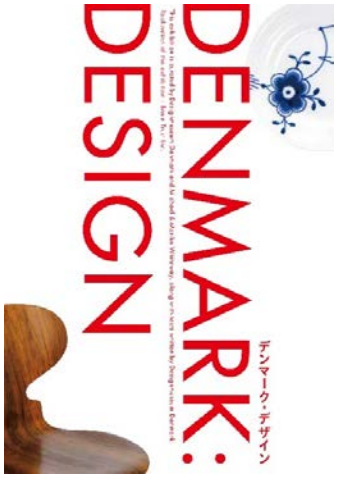
アンデルセンの童話や玩具のレゴブロックなどで有名な北欧の国デンマークは、九州ほどの国土に約570万人が暮らす小さな国だが、充実した社会福祉制度や、自然再生エネルギーの積極的な導入で知られ、国連が毎年発表する国民の幸福度ランキングでは常に上位に位置し、「世界一幸福な国」と言われる。

近年、北欧発のデザインが私たちの身の回りを彩り、デザインの宝庫として注目を集めている。デンマークはその中でもとりわけ、優れたデザイナーを何世代にもわたって送り出してきたデザイン大国として、多くの人々を魅了してきた。暮らしを豊かにするために生み出されたデザインは、美しく温かみがあり、シンプルな機能性を特徴とするが、それは、誰もが良質で快適な住まいをもつことを推奨してきた福祉国家ゆえの産物とも言えるだろう。

本展は、デンマーク・デザイン博物館の学術協力のもと、デンマークの近代から現代までのデザイン史を約200点の作品で辿る、日本初の展覧会であった。アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]、ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]、フィン・ユールらの家具、ポウル・ヘニングスンの照明器具のほか、ロイヤル コペンハーゲンの食器、バング＆オルフセンの音響機器、カイ・ボイイスンの木製玩具など、デンマーク・デザインの数々を紹介し、その魅力に迫ることができた。



ポスター



図録

ジュニアガイド

第1章　国際的評価を得た最初のデンマーク・デザイン

No.	Cat. No.	デザイナー・作者名	生没年	作品名	デザイン年（制作年は[]内に記載）	制作・メーカー・クライアント名等	技法・材質	サイズ（cm） H×φ（高さ×直径） H×W×D（高さ×幅×奥行） L×W（長さ×幅）	所蔵
1	1-1	−	−	皿〈ブルーフルーテッド〉	[1785頃]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H3.3×φ24.6	塩川コレクション
2	1-2	−	−	皿〈ブルーフルーテッド〉	[1864-1877]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H2.1×φ17.3	塩川コレクション
3	1-3 a〜e	−	−	バターパット7〈ブルーフルーテッド〉	a[1894-1898]/b[1891-1893]/c[1913-1922]/d[1891-1893]/e[1898-1922]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	a H0.8×φ7.1/b H0.8×φ7.1/c H0.8×φ7.5/d H0.8×φ7.3/e H0.8×φ7.5	塩川コレクション
4	1-4	−	−	コンポート〈ブルーフルーテッド〉	[1895-1896]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H14.3×φ21.1	塩川コレクション
5	1-5	−	−	トレイ〈ブルーフルーテッド〉	[1898-1922]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H1.2×W28.5×D21.4	塩川コレクション
6	1-6	−	−	カップ＆ソーサー〈ブルーフルーテッド〉	[1902-1922]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H5.3×W8.2×D6.4（カップ）H1.0×φ11.5（ソーサー）	塩川コレクション
7	1-7	−	−	カップ＆ソーサー〈ブルーフルーテッド〉	[1903-1922]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H4.7×W10.1×D8.5（カップ）H2.0×φ13.2（ソーサー）	塩川コレクション
8	1-8	−	−	カップ＆ソーサー〈ブルーフルーテッド〉	[1906-1913]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H5.3×W8.2×D6.4（カップ）H1.0×W11.2×D11.2（ソーサー）	塩川コレクション
9	1-9	−	−	皿〈ブルーフラワー〉	[1785頃]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H3.3×φ25.1	塩川コレクション
10	1-10 a〜d	−	−	皿〈ブルーフラワー〉	[1820-1850]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	a H2.9×φ20.4/b H2.8×φ20.1/c H2.9×φ21.2/d H2.7×φ20.1	塩川コレクション
11	1-11	−	−	皿〈ブルーフラワー〉	[1894-1897]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H5.3×W40.7×D32.0	塩川コレクション
12	1-12	−	−	葉型皿〈ブルーフラワー〉	[1898-1922]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H4.2×W23.5×D18.5	塩川コレクション
13	1-13	−	−	ピクルス皿〈ブルーフラワー〉	[1902]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H4.4×W14.0×D10.0	塩川コレクション
14	1-14	−	−	ポット〈ブルーフラワー〉	[1800頃]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H24.5×W17.7×D11.2	塩川コレクション
15	1-15 a〜d	ゴスタウ・フリードリク・ヘチ	1788-1864	カップ＆ソーサー〈ブルーフラワー〉	[1898-1922]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	a H7.2×W9.6×D7.6（カップ）H3.0×φ13.0（ソーサー）/b H7.3×W9.6×D7.5（カップ）H2.9×φ12.9（ソーサー）/c H7.3×W9.6×D7.6（カップ）H2.8×φ13.2（ソーサー）/d H7.3×W9.6×D7.8（カップ）H3.0×φ13.0（ソーサー）	塩川コレクション
16	1-16	アーノル・クローウ	1856-1931	記念プレート 1888	[1888]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H3.0×φ17.0	塩川コレクション
17	1-17	アーノル・クローウ	1856-1931	鉢〈マーガレットサーヴィス〉	[1898-1922]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H10.0×W.27.0×D14.7	塩川コレクション
18	1-18	アーノル・クローウ	1856-1931	皿〈マーガレットサーヴィス〉	[1900-1922]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H2.8×φ24.5	塩川コレクション
19	1-19	アーノル・クローウ	1856-1931	皿〈マーガレットサーヴィス〉	[1900-1922]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H2.8×φ24.5	塩川コレクション
20	1-20	アーノル・クローウ	1856-1931	カップ＆ソーサー〈マーガレットサーヴィス〉	[1902-1922]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H5.8×W9.0×D7.7（カップ）H1.4×φ12.0（ソーサー）	塩川コレクション
21	1-21	アーノル・クローウ	1856-1931	カップ＆ソーサー〈マーガレットサーヴィス〉	[1902-1922]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H5.8×W9.0×D7.7（カップ）H1.4×φ12.0（ソーサー）	塩川コレクション

No.	Cat. No.	デザイナー・作者名	生没年	作品名	デザイン年（制作年は[]内に記載）	制作・メーカー・クライアント名等	技法・材質	サイズ（cm） H×φ（高さ×直径） H×W×D（高さ×幅×奥行） L×W（長さ×幅）	所蔵
22	1-22	ピートロ・クローン	1840-1905	胡椒入〈鷺のサーヴィス〉	[1895-1898]	ビング オー グレンダール	磁器	H13.8×W7.0×D6.0	塩川コレクション
23	1-23	ピートロ・クローン	1840-1905	塩入〈鷺のサーヴィス〉	[1898-1915]	ビング オー グレンダール	磁器	H9.6×W13.6×D7.4	塩川コレクション
24	1-24	ピートロ・クローン	1840-1905	ソース入〈鷺のサーヴィス〉	[1898-1915]	ビング オー グレンダール	磁器	H14.4×W19.9×D7.1	塩川コレクション
25	1-25	ピートロ・クローン	1840-1905	カップ＆ソーサー〈鷺のサーヴィス〉	[1915]	ビング オー グレンダール	磁器	H6.4×W9.3×D7.4（カップ）H2.1×W11.8×D12.2（ソーサー）	塩川コレクション
26	1-26	-	-	花瓶〈金蓮花〉	[1898-1902]	ビング オー グレンダール	磁器	H30.3×W13.8×D13.5	塩川コレクション
27	1-27	スセデ・C・ホルデン（旧姓スコウゴ姓）	1863-1937	花瓶〈花籠〉	[1911]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H18.9×φ10.5	塩川コレクション
28	1-28	ハンス・ピ□ダ・コフォーズ	1869-1908	皿〈風景〉	[1902-1914]	ビング オー グレンダール	磁器	H3.7×φ24.6	塩川コレクション
29	1-29	-	-	皿〈帆船〉	[1902-1922]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H2.7×φ22.8	塩川コレクション
30	1-30	カール・フレズレク・リースベ□	1860-1909	皿〈風景〉	[1905]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H4.9×φ29.6	塩川コレクション
31	1-31	アメーリェ・スコウ	1907-1966	皿〈風景〉	[1915-1948]	ビング オー グレンダール	磁器	H4.7×φ32.5	塩川コレクション
32	1-32	-	-	皿〈風景〉	[1923-1928]	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H2.0×φ18.0	塩川コレクション

第2章　古典主義から機能主義へ

33	2-1	コーオ・クリント	1888-1954	椅子 KK37580〈レッドチェア〉	1927	ルド・ラスムッセン工房	マホガニー、真鍮、革	H89.0×W58.0×D55.0	デンマーク・デザイン博物館
34	2-2	コーオ・クリント	1888-1954	肘掛椅子 KK47000〈サファリチェア〉	1933	ルド・ラスムッセン工房	アッシュ、キャンヴァス	H80.0×W57.0×D57.0	デンマーク・デザイン博物館
35	2-3	コーオ・クリント	1888-1954	ペンダント・ランプ〈レ・クリント 101C〉	1944	レ・クリント	プラスチック	H44.0×φ34.0	個人蔵
36	2-4	コーオ・クリント	1888-1954	テーブルランプ〈レ・クリント 306〉	1945	レ・クリント	プラスチック、真鍮	H41.0×φ36.0	個人蔵
37	2-5	ハンス・ヴィーイナ［ウェグナー］	1914-2007	机（オーフース市庁舎のためにデザイン）	1938-1939	プレーンムーブラ	チーク、オーク	H75.0×W190.0×D95.0	ハリス・リンゼー社
38	2-6	モーウンス・コク	1898-1992	折り畳み椅子 MK99200	1932	ルド・ラスムッセン工房	ビーチ、リネン、革、真鍮	H87.0×W50.0×D50.0	デンマーク・デザイン博物館
39	2-7	ギーオウ・イェンスン	1866-1935	深皿 no. 2c	1905	ジョージ ジェンセン	銀	H12.0×W25.0×D32.0	個人蔵
40	2-8	ヨハン・ローゼ	1856-1935	ピッチャー no. 432	1920［1933-1944］	ジョージ ジェンセン	銀	H23.0×W14.0×D12.0	個人蔵
41	2-9	アーノ・マリノウスキ	1899-1976	王の記章：クレスチャン10世70歳の誕生日記念	1940	ジョージ ジェンセン	スターリング銀	H3.0×W2.3	個人蔵
42	2-10	アーノ・マリノウスキ	1899-1976	ブローチピン no. 5001c〈鉄と銀〉のシリーズより	1944頃	ジョージ ジェンセン	鉄、銀	H4.0×W4.0	個人蔵
43	2-11	カイ・ニルスン	1882-1924	彫像〈酒神バッカス〉	[1912]	ビング オー グレンダール	炻器	H23.0×W20.0×D10.0	塩川コレクション
44	2-12	カール・ヘーリャ	1873-1948	蓋付壺	[1929]	ロイヤル コペンハーゲン	炻器	H11.7×φ8.7	塩川コレクション

No.	Cat. No.	デザイナー・作者名	生没年	作品名	デザイン年（制作年は[]内に記載）	制作・メーカー・クライアント名等	技法・材質	サイズ（cm） H×φ（高さ×直径） H×W×D（高さ×幅×奥行） L×W（長さ×幅）	所蔵
45	2-13	–	–	蓋付壺	[1930]	ロイヤル コペンハーゲン	炻器	H10.5×φ14.0	塩川コレクション
46	2-14	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	テキスタイル〈牧草地〉	1944	ノーディスカ・コンパニーエット	綿	H66.0×W142.0	トビアス・ヤコブセン
47	2-15	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	テキスタイル〈イラクサ〉	1944	ノーディスカ・コンパニーエット	綿	H81.0×W128.0	トビアス・ヤコブセン
48	2-16	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	テキスタイル〈ヨウラクユリ〉	1944	ノーディスカ・コンパニーエット	綿	H42.5×W183.0	トビアス・ヤコブセン
49	2-17	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	テキスタイル〈ドングリ〉	1944	ノーディスカ・コンパニーエット	リネン	H62.0×W130.5	トビアス・ヤコブセン
50	2-18	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	テキスタイル〈公園〉	1940年代末	テクスティール＝ラスン	綿	H48.5×W69.5	トビアス・ヤコブセン
51	2-19	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	テキスタイル〈レモン〉	1948以前	テクスティール＝ラスン	ビスコース織物	H210.0×W133.0	個人蔵

第3章　オーガニック・モダニズム　ーデンマーク・デザインの国際化

52	3-1	ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]	1914-2007	椅子 JH550〈ピーコックチェア〉	1947	ヨハネス・ハンスン	アッシュ、チーク、ペーパーコード	H106.0×W70.0×D69.0	個人蔵
53	3-2	ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]	1914-2007	椅子 JH501〈ラウンドチェア/ザ・チェア〉	1949	ヨハネス・ハンスン	チーク、籐	H76.0×W64.0×D54.0	個人蔵
54	3-3	ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]	1914-2007	椅子 CH24〈ウィッシュボーンチェア/Y-チェア〉	1950	カール・ハンセン＆サン	アッシュ、ペーパーコード	H72.0×W58.0×D58.0	個人蔵
55	3-4	ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]	1914-2007	肘掛椅子 CH22	1950	カール・ハンセン＆サン	オーク、ペーパーコード	H70.0×W69.0×D58.0	個人蔵
56	3-5	ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]	1914-2007	肘掛椅子 CH27	1951	カール・ハンセン＆サン	オーク、籐	H79.0×W72.0×D75.0	個人蔵
57	3-6	ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]	1914-2007	コーヒーテーブル AT10	1951	アンドレーアス・トゥク	オーク、チーク、籐	H50.0×W130.0×D50.0	個人蔵
58	3-7	バアウ・モーウンスン	1914-1972	椅子 J39	1947	デンマーク生活協同組合連合会	ビーチ、オーク、ペーパーコード	H76.0×W48.0×D40.0	個人蔵
59	3-8	バアウ・モーウンスン	1914-1972	肘掛椅子 モデル2225	1967	フレデリシア・ファニチャー	オーク、革	H81.0×W68.0×D80.0	個人蔵
60	3-9	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	椅子 モデル3100〈アントチェア〉	1952	フリッツ・ハンセン	成形合板、スチール	H77.7×W48.0×D48.0	個人蔵
61	3-10	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	テーブル モデル3603〈エッグテーブル〉	1952	フリッツ・ハンセン	成形合板、スチール	H70.0×W114.0×D64.0	個人蔵
62	3-11	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	椅子 モデル3107〈セヴンチェア〉	1955［1967：オックスフォード大学セント・キャサリンズ・カレッジのために制作］	フリッツ・ハンセン	ビーチの成形合板、スチール	H76.0×W47.0×D44.0	個人蔵
63	3-12	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	椅子 モデル3105	1955	フリッツ・ハンセン	チークの成形合板、スチール	H77.0×W40.0×D44.0	個人蔵

No.	Cat. No.	デザイナー・作者名	生没年	作品名	デザイン年（制作年は[]内に記載）	制作・メーカー・クライアント名等	技法・材質	サイズ（cm） H×φ（高さ×直径） H×W×D（高さ×幅×奥行） L×W（長さ×幅）	所蔵
64	3-13	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	椅子 モデル3103	1955	フリッツ・ハンセン	チークの成形合板、クロムスチール	H77.0×W44.0×D48.0	個人蔵
65	3-14	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	スクールデスク	1955	フリッツ・ハンセン	ビーチの成形合板、スチール	H72.0×W57.0×D51.0	個人蔵
66	3-15	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	肘掛椅子〈エッグチェア〉	1958［1965頃］	フリッツ・ハンセン	アルミニウム、革	H107.0×W85.0×D81.0	個人蔵
67	3-16	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	肘掛椅子〈スワンチェア〉	1957-1958	フリッツ・ハンセン	アルミニウム、布	H76.0×W76.0×D70.0	個人蔵
68	3-17	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	テーブル	1958	フリッツ・ハンセン	成形合板、アルミニウム	H46.0×φ58.0	個人蔵
69	3-18	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	ペンダント・ランプ〈AJ〉	1957	ルイスポールセン	アルミニウム、スチール	H17.0×φ49.0	個人蔵
70	3-19	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	コーヒーポット、クリーマー、砂糖入〈シリンダ・ライン〉	1964	ステルトン	ステンレススチール、ベークライト	H17.0×W20.0×D8.5（コーヒーポット）/H9.5×W5.5×D5.0（クリーマー）/H5.5×φ7.5（砂糖入れ）	個人蔵
71	3-20	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	サーバー〈AJ〉	1957	A・ミゲルスン	ステンレススチール	L32.0×W3.4	個人蔵
72	3-21	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	カトラリー〈AJ〉	1957	A・ミゲルスン	ステンレススチール	L20.2×W1.8（フォーク）/L18.8×W1.5（フォーク）/L15.7×W1.3（フォーク）/L18.7×W3.0（スプーン）/L18.7×W2.0（スプーン）/L15.8×W2.0（スプーン）/L17.0×W5.0（スプーン）/L17.0×W5.0（スプーン）/L16.5×W2.5（ナイフ）/L20.0×W1.8（ナイフ）	個人蔵
73	3-22	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	サラダサーバー〈シリンダ・ライン〉	1964以降	ステルトン	ステンレススチール	L31.0×W5.0	個人蔵
74	3-23	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902-1971	ドアハンドル〈AJ〉	1956	カール・F・ピーダスン	真鍮、ブロンズ	L13.0×W8.0	個人蔵
75	3-24	フィン・ユール	1912-1989	椅子 FJ46	1946	ニルス・ヴォザ	チーク、布	H84.0×W62.0×D58.0	個人蔵
76	3-25	フィン・ユール	1912-1989	椅子〈チーフテンチェア〉	1949	ニルス・ロート・アナスン	チーク、革	H94.0×W102.0×D93.0	デンマーク・デザイン博物館
77	3-26	フィン・ユール	1912-1989	サイドテーブル FD531	1950年代	フランス・オ・ダーファコースン	チーク	H39.0×W59.0×D43.0	個人蔵
78	3-27	フィン・ユール	1912-1989	コーヒーテーブル FD531/45	1950年代	フランス・オ・セン	チーク	H45.0×W175.0×D60.0	個人蔵
79	3-28	フィン・ユール	1912-1989	ボウル	1951	マウネ・モンスン・フォ・カイ・ボイイスン	チーク	H17.5×W37.5×D34.0	個人蔵
80	3-29	フィン・ユール	1912-1989	ソファ モデル137〈ジャパンソファ〉	1953	フランス・オ・セン	チーク、ウール	H73.0×W120.0×D73.0	個人蔵
81	3-30	フィン・ユール	1912-1989	椅子 モデル96	1956	セーアン・ヴィラスン家具工場	オーク、チーク、籐	H79.0×W72.0×D75.0	個人蔵
82	3-31	フィン・ユール	1912-1989	椅子 FD192	1959	フランス・オ・セン	チーク、革	H83.0×W70.0×D58.0	個人蔵
83	3-32	ヴィルヘルム・ロンストラム	1893-1950	静物	［1940頃］	–	リトグラフ	H27.0×W22.0	個人蔵
84	3-33	リカート・モーデンスン	1910-1993	（不詳）	［1961］	–	シルクスクリーン	H61.0×W47.0	個人蔵

No.	Cat. No.	デザイナー・作者名	生没年	作品名	デザイン年（制作年は[]内に記載）	制作・メーカー・クライアント名等	技法・材質	サイズ（cm） H×φ（高さ×直径） H×W×D（高さ×幅×奥行） L×W（長さ×幅）	所蔵
85	3-34	リカート・モーデンスン	1910-1993	（不詳）	[1965]	-	印刷	H70.0×W51.0	個人蔵
86	3-35	リカート・モーデンスン	1910-1993	（不詳）	[1965]	-	印刷	H70.0×W51.0	個人蔵
87	3-36	リカート・モーデンスン	1910-1993	『アトリエ143』から	[1967頃]	-	シルクスクリーン	H70.0×W50.0	個人蔵
88	3-37	リカート・モーデンスン	1910-1993	（不詳）	[1968]	-	シルクスクリーン	H63.0×W75.0	個人蔵
89	3-38	リカート・モーデンスン	1910-1993	（不詳）	[1968]	-	シルクスクリーン	H75.0×W56.0	個人蔵
90	3-39	リカート・モーデンスン	1910-1993	（不詳〈コンポジション〉か？）	[1969]	-	シルクスクリーン	H75.0×W59.0	個人蔵
91	3-40	ローバト・ヤコプスン	1912-1993	（不詳）	[1975頃]	-	シルクスクリーン	H64.0×W86.0	個人蔵
92	3-41	ポウル・ケアホルム	1929-1980	椅子 EKC22	1955	E・コル・クレステンスン	クロムスチール、革	H72.0×W59.0×D64.0	個人蔵
93	3-42	ポウル・ケアホルム	1929-1980	テーブル EKC61	1956	E・コル・クレステンスン	クロムスチール、スレート	H33.0×W86.5×D86.5	個人蔵
94	3-43	ポウル・ヘニングスン	1894-1967	ペンダント・ランプ〈PH アーティチョーク〉	1957	ルイスポールセン	銅、スチール、クロム板、アルミニウム	H84×φ84	個人蔵
95	3-44	ポウル・ヘニングスン	1894-1967	ペンダント・ランプ〈PH5〉	1958	ルイスポールセン	アルミニウム	H30.0×φ51.0	個人蔵
96	3-45	ポウル・ヘニングスン	1894-1967	ペンダント・ランプ〈PH コントラスト〉	1958-1962	ルイスポールセン	アルミニウム	H44.0×φ44.0	個人蔵
97	3-46	ポウル・ヘニングスン	1894-1967	ペンダント・ランプ〈PH4/3〉	1966	ルイスポールセン	アルミニウム	H20.0×φ42.0	個人蔵
98	3-47	ヴェアナ・パントン	1926-1998	椅子〈ハートコーンチェア〉	1958	ヴィトラ	ステンレススチール、ウール	H89.0×W103.0×D62.5	個人蔵
99	3-48	ヴェアナ・パントン	1926-1998	椅子 271F	1965	トーネット	成形合板	H75.0×W63.0×D65.0	個人蔵
100	3-49a	ヴェアナ・パントン	1926-1998	椅子〈パントンチェア〉	1967 [1974]	ハーマンミラー	プラスチック	H83.0×W48.0×D56.0	個人蔵
101	3-49b	ヴェアナ・パントン	1926-1998	椅子〈パントンチェア〉	1967 [1976]	ハーマンミラー	プラスチック	H83.0×W48.0×D56.1	個人蔵
102	3-50	ヴェアナ・パントン	1926-1998	ペンダントランプ〈フラワーポット〉	1968	ルイスポールセン	スチールにエナメル加工	H15.7×φ21.5	個人蔵
103	3-51	ナナ・ディツェル	1923-2005	椅子 モデルOD-5301-2	1969	オゼンセ木工所	ファイバーグラス	H79.0×W49.0×D56.0	個人蔵
104	3-52	ピーダ・ヴィト 1916-1986/オーラ・ムルゴー=ニルスン 1907-1993	-	椅子〈AXチェア〉	1947	フリッツ・ハンセン	ビーチとチークの成形合板	H75.5×W61.0×D74.0	個人蔵
105	3-53	イェンス・ヨート	-	椅子 モデル306	1954	ラナス椅子工場	ビーチ、チークの成形合板	H84.0×W55.0×D54.0	個人蔵
106	3-54	トーヴェ・キント=ラースン 1906-1994/イズヴァト・キント=ラースン 1901-1982	-	肘掛椅子 モデル117	1956	フランス・オ・ダーファコースン	オーク、チーク、ウール	H77.0×W61.0×D79.0	個人蔵
107	3-55	カーアン・クレメンスン 1917-2001/エベ・クレメンスン 1917-2003	-	肘掛椅子 モデル4305	1959	フリッツ・ハンセン	アッシュ、革、真鍮	H73.0×W61.0×D71.0	個人蔵
108	3-56	イロム・ヴィゲルスー	1919-1999	ロッキングチェア	1958	N・アイラスン	オーク	H73.0×W53.0×D92.0	個人蔵

No.	Cat. No.	デザイナー・作者名	生没年	作品名	デザイン年（制作年は[]内に記載）	制作・メーカー・クライアント名等	技法・材質	サイズ（cm） H×φ（高さ×直径） H×W×D（高さ×幅×奥行） L×W（長さ×幅）	所蔵
109	3-57	カイ・クレスチャンスン	1929-	椅子、フットレスト モデル161	1963	マウヌス・オーレスン	木、ウール	H73.0×W63.0×D75.0（椅子）/H44.0×W58.0×D44.0（フットレスト）	個人蔵
110	3-58	アクトン・ビャアン	1910-1992	ポータブルラジオ〈ベオリット500〉	1965	バング＆オルフセン	チーク、プラスチック	H7.5×W26.0×D18.5	個人蔵
111	3-59a	ヤコプ・イェンスン	1926-2015	FMチューナー/アンプ〈ベオマスター1200〉	1969	バング＆オルフセン	アルミニウム、プラスチック、木	H7.6 ×W54.6×D20.7	個人蔵
112	3-59b	ヤコプ・イェンスン	1926-2015	レコードプレーヤー〈ベオグラム1200〉	1969	バング＆オルフセン	プラスチック、アルミニウム、ステンレススチール	H11.6×W44.0×D33.0	個人蔵
113	3-60	ヤコプ・イェンスン	1926-2015	ポータブルラジオ〈ベオリット600〉	1970	バング＆オルフセン	木、アルミニウム、スチール、プラスチック	H18.0×W34.0×D5.5	個人蔵
114	3-61	ヤコプ・イェンスン	1926-2015	レコードプレーヤー〈ベオグラム4000〉	1972	バング＆オルフセン	アルミニウム、プラスチック、木	H10.0×W48.0×D37.0	個人蔵
115	3-62	ヤコプ・イェンスン	1926-2015	レシーバー〈ベオマスター1900〉	1976	バング＆オルフセン	アルミニウム、プラスチック、スチール、木	H6.5×W61.0×D24.5	デンマーク・デザイン博物館
116	3-63	-	-	掃除機	1960	ニルフィスクアドバンス	アルミニウム、プラスチック	H41.0×φ30.0	デンマーク・デザイン博物館
117	3-64	イェンス・クヴィストゴー	1919-2008	両手鍋〈コベンスタイル〉	1954	ダンスク・インターナショナル・デザインズ	スチールにエナメル加工	H12.0×W26.0×D18.3	個人蔵
118	3-65	イェンス・クヴィストゴー	1919-2008	片手鍋〈コベンスタイル〉	1954	ダンスク・インターナショナル・デザインズ	スチールにエナメル加工	H11.5×W31.0×D18.0	個人蔵
119	3-66	イェンス・クヴィストゴー	1919-2008	アイスペール	1958頃	ダンスク・インターナショナル・デザインズ	チーク、プラスチック	H49.0×φ22.0	個人蔵
120	3-67	イェンス・クヴィストゴー	1919-2008	サラダボウルセット	1960	ダンスク・インターナショナル・デザインズ	チーク	H10.5×φ23.8（ボウル）/L34.5×W4.5（サーバー）/L34.5×W4.3	個人蔵
121	3-68	イェンス・クヴィストゴー	1919-2008	カトラリー〈チャアン〉	1959	ダンスク・インターナショナル・デザインズ	スチール	L20.5×W3.0（フォーク）/L16.6×W2.1（バターナイフ）	個人蔵
122	3-69	イェンス・クヴィストゴー	1919-2008	キャンドルホルダー〈クラウン〉	1960	ダンスク・インターナショナル・デザインズ	スチール	H8.0×φ10.0	個人蔵
123	3-70	イェンス・クヴィストゴー	1919-2008	キャンドルホルダー	1960	ダンスク・インターナショナル・デザインズ	鋳鉄	H4.4×φ18.2	個人蔵
124	3-71	イェンス・クヴィストゴー	1919-2008	キャンドルホルダー	1960	ダンスク・インターナショナル・デザインズ	鋳鉄	H3.3×φ10.9	個人蔵
125	3-72	ヘニング・コベル	1918-1981	ピッチャー no. 992	1952	ジョージ ジェンセン	銀	H28.7×φ21.8	ジョージ ジェンセン A/S
126	3-73	ヘニング・コベル	1918-1981	ブローチ no. 306	1947	ジョージ ジェンセン	銀、エナメル	H5.5×W5.0	個人蔵
127	3-74	ヘニング・コベル	1918-1981	ブローチ no. 307	1947	ギーオウ・イェンスン・オ・ヴェネル	銀、エナメル	H6.5×W3.5	個人蔵
128	3-75	ヘニング・コベル	1918-1981	ブローチ no. 322	1947	ジョージ ジェンセン	銀	H5.0×W3.5	個人蔵

No.	Cat. No.	デザイナー・作者名	生没年	作品名	デザイン年（制作年は[]内に記載）	制作・メーカー・クライアント名等	技法・材質	サイズ（cm） H×φ（高さ×直径） H×W×D（高さ×幅×奥行） L×W（長さ×幅）	所蔵
129	3-76	ヘニング・コベル	1918-1981	ブローチ no. 314	1954	ジョージ ジェンセン	銀、エナメル	H7.0×W3.0	個人蔵
130	3-77	ヘニング・コベル	1918-1981	ブローチ no. 315	1954	ジョージ ジェンセン	銀、エナメル	H4.5×W4.5	個人蔵
131	3-78	ヘニング・コベル	1918-1981	ブローチ no. 323	1956	ジョージ ジェンセン	銀、エナメル	H6.2×W6.0	個人蔵
132	3-79	ヘニング・コベル	1918-1981	ブローチ no. 327	1956	ジョージ ジェンセン	銀	H6.0×W2.5	個人蔵
133	3-80	ヘニング・コベル	1918-1981	イヤリング no. 118〈スプラッシュ〉	1965	ジョージ ジェンセン	金	H3.0×W2.0	個人蔵
134	3-81	ナナ・ディツェル 1923-2005/ヤアアン・ディツェル 1921-1961	-	ブローチ no. 328	1957	ジョージ ジェンセン	銀、ヘマタイト	H5.0×W4.0	個人蔵
135	3-82	-	-	指輪	1967	ジョージ ジェンセン	銀	H3.0×W2.0	個人蔵
136	3-83	ヘニング・コベル	1918-1981	カトラリー〈カラヴェル〉	1957	ジョージ ジェンセン	銀	L21.7×W5.7（スプーン）/L10.5×W2.4（スプーン）/ L18.8×W3.0（フォーク）/L17.0×W3.0（フォーク）/L16.3×W3.0（フォーク）/L4.6×W1.8（フォーク）/L19.8×W3.0（ナイフ）/L19.2×W2.2（ナイフ）/L16.8×W1.7（ナイフ）/L15.3×W2.7（ナイフ）	個人蔵
137	3-84	ヘニング・コベル	1918-1981	サラダサーバー〈カラヴェル〉	1957	ジョージ ジェンセン	銀、メラミン	L29.0×W7.5	個人蔵
138	3-85	スヴェン・シューネ	1935-	カトラリー〈ブルーシャーク〉	1965	ジョージ ジェンセン	ステンレススチール	L17.2×W4.9（スプーン）/L14.5×W3.8（スプーン）/L17.4×W3.1（フォーク）/L14.7×W2.5（フォーク）/L18.9×W2.5（ナイフ）	個人蔵
139	3-86	ヘニング・コベル	1918-1981	片手鍋、両手鍋〈タヴェアナ〉	1971頃	ジョージ ジェンセン	銅、スチール	H17.8×W41.5×d21.0（蓋付片手鍋）/H10.5×W22.1×d16.1（蓋付両手鍋）/H14.3×W47.1×d26.1（蓋付片手鍋）/H11.2×W37.1×d20.0（片手鍋）	個人蔵
140	3-87	ベント・スィヴェリーン	1925-2012	グラス〈プリンセス〉	1957	ホルメゴー・グラスワークス	ガラス	H8.9×φ3.5（ウォッカグラス）/H10.0×φ5.0（ブランデーグラス）/H7.5×φ7.2（シャーベットグラス）/H10.0×φ10.4（シャーベットグラス）/H13.8×φ6.4（ワイングラス）/H16.5×φ7.5（ワイングラス）/H21.5×φ5.9（シャンパングラス）/H20.8×φ8.5（グラス）	個人蔵
141	3-88a	ピア・リュトケン	1916-1998	ベース、ピッチャー〈カーナビ〉	1968	ホルメゴー・グラスワークス	ガラス	H12.5×φ10.0（ベース）/H15.2×φ12.5（ベース）/H13.2×φ12.0（ベース）/H25.7×φ9.5（ベース）/H23.0×φ12.0（ベース）/H20.5×φ13.2（ピッチャー）	個人蔵

No.	Cat. No.	デザイナー・作者名	生没年	作品名	デザイン年（制作年は[]内に記載）	制作・メーカー・クライアント名等	技法・材質	サイズ（cm） H×φ（高さ×直径） H×W×D（高さ×幅×奥行） L×W（長さ×幅）	所蔵
142	3-88b	ピア・リュトケン	1916-1998	ベース、ピッチャー〈カーナビ〉	1968	ホルメゴー・グラスワークス	ガラス	H24.0×φ12.0×（ベース）/H23.5×φ10.0（ベース）/H20.0×φ19.0（ベース）/H15.5×φ12.5（ベース）/H30.3×φ12.5（ベース）/H20.5×φ13.5（ピッチャー）	個人蔵
143	3-89	ミケール・バング	1942-2013	ペンダントランプ	1950-1959	ホルメゴー・ライト	チーク、ガラス	H31.0×φ14.0	個人蔵
144	3-90	ミケール・バング	1942-2013	ペンダントランプ	1950-1959	ホルメゴー・ライト	チーク、ガラス	H38.0×φ13.4	個人蔵
145	3-91	ゲアトルズ・ヴェーセゴー	1913-2007	ティーポット〈ギーミナ〉	1960	ロイヤル コペンハーゲン	陶器	H23.0×W17.0×D12.0	個人蔵
146	3-92	ゲアトルズ・ヴェーセゴー	1913-2007	蓋付深皿〈ゲマ〉	1961	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H12.0×W28.0×D24.0	個人蔵
147	3-93	グレーデ・マイア	1918-2008	食器セット〈ブローカント〉	1965	ロイヤル コペンハーゲン	陶器（ファイアンス焼）	H4.7×W10.5×D8.5（カップ）H1.5×φ13.6（ソーサー）/H9.5×W18.0×D12.2（ティーポット）/H7.5×W8.4×D7.0（ピッチャー）/H6.3×φ9.3（ポット）/H3.0×W15.0×D15.0（角形プレート）/H3.0×W24.0×D15.5（角形プレート）/H1.5×φ17.0（円形プレート）/H12.5×φ23.2（ポット）	個人蔵
148	3-94	グレーデ・マイア	1918-2008	蓋付ボウル〈ファイヤーポット〉	1976	ロイヤル コペンハーゲン	炻器	H5.0×D13.5（ボウル）/H1.8×D13.0（蓋）	個人蔵
149	3-95	ヘアバト・クレンケル	1922-2014	ボウル〈クレーニトボウル〉	1953	トーベン・アアスコウ	金属にエナメル加工	H12.0×φ38.4/H14.0×φ25.0/H11.0×φ25.0	個人蔵
150	3-96	スィーグヴァード・バーナドット 1907-2002/アクトン・ビャアン 1910-	-	ボウル〈マグレーデボウル〉	1954	ロスティ	メラミン	H13.0×W21.5×D18.2	デンマーク・デザイン博物館
151	3-97	オーレ・キアク・クレスチャンスン	1891-1958	無限連結式ブロック玩具〈レゴブロック〉	1960頃	レゴ	プラスチック	H8.2×W6.1×D2.3（紙箱）/H4.8×W10.0×D10.0（紙箱）/H2.5×W20.0×D20.0（紙箱）	個人蔵
152	3-98	カイ・ボイイスン	1886-1958	玩具〈サル〉	1951	カイ・ボイイスン	木	H19.0×W16.0×D5.0	個人蔵
153	3-99	カイ・ボイイスン	1886-1958	木馬	[1950年代-1960年代]	カイ・ボイイスン建築事務所	ビーチ	H56.0 ×W86.0 ×D22.0	個人蔵
154	3-100	ヤコプ・イェンスン	1926-2015	玩具〈デンマークのバイキング〉	1958	コペンハーゲン・デザイン	木	H14.0×W6.0×D5.0/H10.6×W6.0×D6.5/H10.0×W6.0×D5.0	個人蔵
155	3-101	ヤコプ・イェンスン 1926-2015/ヤーン・トレーゴード 1931-2006	-	薬味入れ〈エスキモー〉	1960	コペンハーゲン・デザイン	木	H6.0×φ4.0/H7.0×φ4.0/H9.0×φ4.0/H12.0×φ5.0	個人蔵
156	3-102	-	-	ポスター〈私たちの家、ノルディック展〉	1950頃	デンマーク美術工芸協会	ポスター	H81.0×W59.0	個人蔵
157	3-103	アーネ・オンガマン	1902-1981	ポスター〈デン・ペアマネンデ-デンマークの工芸と産業美術〉	1956	アンドレーアスン・オ・ラクマン	ポスター	H85.0×W62.0	個人蔵

No.	Cat. No.	デザイナー・作者名	生没年	作品名	デザイン年（制作年は[]内に記載）	制作・メーカー・クライアント名等	技法・材質	サイズ（cm） H×φ（高さ×直径） H×W×D（高さ×幅×奥行） L×W（長さ×幅）	所蔵
158	3-104	ヴィゴ・ヴァウンビュー	1896-1966	ポスター〈ワンダフル・コペンハーゲン〉	1953	イェンス・クレスチャン・サアアンスン／コペンハーゲン観光協会	リトグラフ	H99.0×W61.0	個人蔵
159	3-105	イプ・アントーニ・イェンスン	1929-1973	ポスター〈上質な家具で有名〉	1964	デンマーク外務省	ポスター	H100.0×W63.0	個人蔵
160	3-106	ポウル・セーロモンスン	-	ポスター〈Yチェア〉	1965頃	カール・ハンセン＆サン	ポスター	H100.0×W62.0	個人蔵
161	3-107	ピア・アーノルディ	1941-	ポスター〈コペンハーゲンジャズ-ヨーロッパの中心〉	1972	カイ・スヴェンスン	シルクスクリーン	H100.0×W62.0	個人蔵

第4章　ポストモダニズムと現代のデンマーク・デザイン

162	4-1	イーレク・マウヌスン	1940-	バキュームジャグ	1976 (1979)	ステルトン	プラスチック、ガラス	H30.0×W18.0×D10.5	デンマーク・デザイン博物館
163	4-2	ニルス・ヤアアン・ハウゲスン	1936-2013	椅子〈Xラインチェア〉	1977	ヒュボデーン	クロムメッキスチール、金属	H77.0×W50.5×D49.0	デンマーク・デザイン博物館
164	4-3	オーレ・パルスビュー	1935-2010	鍋、蓋〈イーヴァ・トリオ〉	1977	イーヴァソーロ	銅、ステンレススチール、アルミニウム	H15.7×W27.7×D21.3（キャセロール 4.8l）/H1.5×l31.7×D21.7（蓋）/H12.7×W23.6×D17.4（キャセロール2.5l）/H13.2×W31.0×D21.6（キャセロール3.9l）	デンマーク・デザイン博物館
165	4-4	ボダム	-	フレンチプレスコーヒーメーカー〈シャンボー〉	1982	ボダム	ガラス、プラスチック、ステンレススチール	H24.5×W17.1×D10.5	個人蔵
166	4-5	ヴィヴィアンナ・トールン・ビーロヴ＝ヒーベ	1927-2004	ペーパーナイフ	1989	ジョージ ジェンセン	銀	W23.0×D2.3	個人蔵
167	4-6 a〜i	ウアスラ・モンク＝ピーダスン	1937-	食器セット〈ウアスラ〉	1991	ケーラーデザイン	炻器	a H16.7×W21.5×D11.2（ジャグL）/b H13.2×W17.0×D8.8（ジャグM）/c H10.7×W11.2×D7.7（ジャグS）/d H6.8×W13.5×D10.2（カップ）/e H10.5×W22.0×D14.0（ボウルL）/f H6.0×W10.6×D8.2（ボウルS）/g H6.2×φ19.7（深皿）/h H3.4×W34.0×D22.2（プレートL）/i H3.4×W34.0×D22.2（プレートL）	デンマーク・デザイン博物館
168	4-7	オーレ・イェンスン	1958-	ピッチャー	1993	ロイヤル コペンハーゲン	陶器（ファイアンス焼）	H20.0×W20.0×D10.5	個人蔵
169	4-8	ナナ・ディツェル	1923-2005	椅子〈トリニダードチェア〉	1993	フレデリシア・ファニチャー	オーク、スチール	H83.0×W47.5×D57.0	デンマーク・デザイン博物館
170	4-9	オーレ・イェンスン	1958-	洗い桶セット〈ウォッシングアップボウル〉	1996 (2002)	ノーマン コペンハーゲン	ゴム、ビーチ、毛	H14.0×W28.0×D28.0（ボウル）/L22.5（ブラシ）	デンマーク・デザイン博物館

No.	Cat. No.	デザイナー・作者名	生没年	作品名	デザイン年（制作年は[]内に記載）	制作・メーカー・クライアント名等	技法・材質	サイズ（cm） H×φ（高さ×直径） H×W×D（高さ×幅×奥行） L×W（長さ×幅）	所蔵
171	4-10	ハンス・サングレーン・ヤコプスン	1963-	スツール〈ギャラリースツール〉	1998	フレデリシア・ファニチャー	アッシュ、スチールパイプ	H48.0×W52.0×D36.0	デンマーク・デザイン博物館
172	4-11	コンプロト・ディサイン（ボーリス・ベルリーン 1953-/ポウル・クレスチャンスン 1947-	-	椅子〈ノンチェア〉	2000	チェッレモー	スチール、ウレタンゴム	H77.0×W44.0×D39.0	デンマーク・デザイン博物館
173	4-12	カーアン・ケルゴー＝ラースン	1974-	皿、カップ〈ブルーフルテッド メガ〉	2000	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H10.0×W12.0×D9.0（カップ）/H3.7×φ27.2（皿）/H2.5×φ17.0（皿）	デンマーク・デザイン博物館
174	4-13	スィスィーリェ・マンス	1972-	ペンダントランプ〈カラヴァッジョ〉	2005	ライトイヤーズ	スチール	H50.0×φ40.0	デンマーク・デザイン博物館
175	4-14	コンプロト・ディサイン（ボーリス・ベルリーン 1953-/ポウル・ クレスチャンスン 1947-	-	椅子〈リトル・ノーバディ〉	2007	ヘイ	PETフェルト、ポリマー繊維、プラスチックボトルからのリサイクル素材	H46.0×W42.0×D40.0	デンマーク・デザイン博物館
176	4-15	キビースィ	-	自転車〈NYC〉	2014	ビオミーガ	アルミニウム、スチール	H103.0×W63.0×D170.0	デンマーク・デザイン博物館
177	4-16	キビースィ	-	自転車〈PEK〉	2015	ビオミーガ	アルミニウム、スチール	H99.5×W60.0×D210.0	デンマーク・デザイン博物館
178	4-17	イェンス・マーティン・スキプステズ	1970-	自転車〈BOS〉	2016	ビオミーガ	アルミニウム、スチール	H118.0×W77.5×D160.0	デンマーク・デザイン博物館
179	4-18	ヘンレク・クーベル	1972-	ポスター〈ラブストーリーズ〉	2006	アヴェニュ＝ティー	ポスター	H99.9×W70.0	デンマーク・デザイン博物館
180	4-19	タル エア	1967-	ポスター〈コペンハーゲン・ジャズ・フェスティヴァル〉	2009	コペンハーゲン・ジャズ・フェスティヴァル	ポスター	H93.0×W70.0	デンマーク・デザイン博物館
181	4-20	ミケール・イェンスン	-	ポスター〈スロッビング・グリッスル〉	2009	デンマーク国立ギャラリー	ポスター	H84.7×W60.0	デンマーク・デザイン博物館
182	4-21	イドナ グループ （前：スカンディナビアン・デザインラボ）	-	ポスター〈レボルブ〉	2010	リパブリック劇場	ポスター	H99.9×W69.9	デンマーク・デザイン博物館
183	4-22	ピーダ・ケーア・アナスン	-	ポスター〈レストラン ル・サン・ジャック〉	2010	レストラン ル・サン・ジャック	ポスター	H100.0×W70.0	デンマーク・デザイン博物館
184	4-23	マス・ベアウ	-	ポスター〈チョコレート〉	2011頃	ハンスンのアイスクリーム	ポスター	H70.0×W50.0	デンマーク・デザイン博物館

No.	Cat. No.	デザイナー・作者名	生没年	作品名	デザイン年（制作年は[]内に記載）	制作・メーカー・クライアント名等	技法・材質	サイズ（cm） H×φ（高さ×直径） H×W×D（高さ×幅×奥行） L×W（長さ×幅）	所蔵
185	4-24	ピア・アーノルディ	1941-	ポスター〈聴覚の100年〉	2012	難聴者協会	ポスター	H80.0×W60.0	デンマーク・デザイン博物館
186	4-25	ギデ・カト	1948-	ポスター〈子どもたちの演劇フェスティヴァル〉	2014	児童演劇フェスティバル	ポスター	H99.0×W70.0	デンマーク・デザイン博物館
187	4-26	ディサイン ボーレーエズ	-	ポスター〈ラーニング・フロム・ジャパン展〉	2015	デンマーク・デザイン博物館	ポスター	H84.0×W59.4	デンマーク・デザイン博物館
188	4-27	フィン・ニュゴー	1955-	ポスター〈オーフス・ジャズ・フェスティヴァル〉	2015	オーフス・ジャズ・フェスティヴァル	ポスター	H150.0×W100.0	デンマーク・デザイン博物館

特別出品

189	特別出品 1	ロナン＆エルワン・ブルレック	-	テキスタイル・タイル〈クラウズ〉	2009	クヴァドラ	ウール	L47.0×W21.0	クヴァドラ
190	特別出品 2	ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]	1914-2007	椅子 pp503〈ラウンドチェア/ザ・チェア〉	1950	PPモブラー	オーク、革	H76.0×W63.0×D52.0	PPモブラー
191	特別出品 3	ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]	1914-2007	椅子 pp19〈パパベアチェア〉	1951	PPモブラー	オーク、布	H101.0×W90.0×D95.0	PPモブラー
192	特別出品 4	ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]	1914-2007	椅子 pp505〈カウホーンチェア〉	1952	PPモブラー	オーク、籐	H74.0×W59.0×D45.0	PPモブラー
193	特別出品 5	ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]	1914-2007	椅子 pp250〈ヴァレットチェア〉	1953	PPモブラー	メープル、ウェンジ	H95.0×W51.0×D50.0	PPモブラー
194	特別出品 6	ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]	1914-2007	椅子 pp701〈ミニマルチェア〉	1965	PPモブラー	オーク、革、スチール	H70.0×W63.0×D45.5	PPモブラー
195	特別出品 7	ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]	1914-2007	椅子 pp130〈サークルチェア〉	1986	PPモブラー	アッシュ、布、ロープ、スチール	H97.0×W112.0×D94.0	PPモブラー
196	特別出品 8	ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]	1914-2007	椅子 pp68〈アームチェア〉	1987	PPモブラー	オーク、ペーパーコード	H72.0×W58.0×D47.0	PPモブラー
197	特別出品 9	-	-	椅子のパーツ	-	PPモブラー	オーク	L49.0×W8.0×D8.0/L47.5×W14.5×D12.0/L49.0×W8.0×D8.0/L59.0×W41.5×D11.5/L56.0×W9.0×D4.0/L55.0×W9.0×D4.0/ L55.0×W9.0×D4.0/54.0×60.0×H12.0/50.0×59.0×H12.0/L49.0×W7.5×D6.0/L49.0× W7.5×D6.5/L34.0×W12.0×D5.0/L34.0× W12.0×D5.0/L57.0×W12.0×D4.0/L42.0× W12.0×D5.0/L42.0×W12.0×D5.0/L47.5× W11.0×D8.0/L44.0×W11.5×D5.0/L47.0× W7.5×D6.0	PPモブラー

参考出品

No.	Cat. No.	デザイナー・作者名	生没年	作品名	デザイン年（制作年は[]内に記載）	制作・メーカー・クライアント名等	技法・材質	サイズ（cm） H×φ（高さ×直径） H×W×D（高さ×幅×奥行） L×W（長さ×幅）	所蔵
198	参考出品 1	ヤコプ・イェンスン	1926–2015	スピーカー ベオヴォックス1702	1972	バング＆オルフセン	木、布	H33.0×W18.0×D18.0	個人蔵
199	参考出品 2	ハンス・ヴィーイナ[ウェグ	1914–2007	コーヒーテーブル AT10	1951	アンドレーアス・トゥク	オーク、チーク、籐	H50.0×W50.0×L163.0	個人蔵
200	参考出品 3	バアウ・モーウンスン	1914–1972	テーブル モデル 284	1965	フレデリシア・ファニチャー	オーク	H68.0×W89.0×L180.0	個人蔵
201	参考出品 4	アーネ・ヤコプスン[アルネ・ヤコブセン]	1902–1971	スプーンセット 箱入り	1956–1958頃	A・ミゲルスン	ステンレススチール	L12.0×W1.0（スプーン）/H3.0×L17.0×W10.0（箱）	個人蔵
202	参考出品 5	ゲアトルズ・ヴェーセゴー	1913–2007	食器セット〈ゲマ〉	1961	ロイヤル コペンハーゲン	磁器	H14.0×φ30.0（ボウル）/H5.0×φ8.0（ボウル）/H8.0×φ33.0（円形皿）/H4.0×W24.0×D17.0（楕円形皿）/H8.0×W22.0×D11.0（ピッチャー）/H6.0×W14.0×D8.0（クリーマー）	個人蔵
203	参考出品 6	–	–	ボウル、トレイ	–	ロスティ	メラミン	H13.7×W27.9×D24.0（ボウル 4l、茶色）/H12.8×W24.0×D20.3（ボウル 2.5l、茶色）/H12.8×W25.3×D21.6（ボウル 3l、緑）/H7.0×W24.6×D21.8（ボウル茶色）/H6.5×W19.2×D16.9（ボウル茶色）/H2.0×W23.7×D19.0（三角形トレイ）/H3.5×φ20.3（円形皿）/H2.0×W35.4×D20.6（角形トレイ）	個人蔵
204	参考出品 7	ローバト・ヤコプスン	1912–1993	（不詳）	–	–	印刷	H62.0×W88.0	個人蔵
205	参考出品 8	ローバト・ヤコプスン	1912–1993	無題	–	–	印刷	H62.0×W87.0	個人蔵
206	参考出品 9	–	–	ラグ	–	–	–	L165.0×W100.0	個人蔵
207	参考出品 10	–	–	ラグ	–	–	–	L208.0×W133.0	個人蔵
208	参考出品 11	–	–	家具カタログ：E・コル・クレステンスン社	1964	E・コル・クレステンスン	カタログ	H14.0×W14.0	個人蔵
209	参考出品 12	–	–	家具カタログ：ヨハネス・ハンスン社によるハンス・ヴィーイナの家具	1965	ヨハネス・ハンスン	カタログ	H18.5×W12.5	個人蔵
210	参考出品 13	–	–	家具カタログ：ニルス・ヴォザ社によるフィン・ユールの家具	1956	ニルス・ヴォザ	カタログ	H15.3×W22.5	個人蔵
211	参考出品 14	–	–	家具カタログ：フリッツ・ハンセン社	–	フリッツ・ハンセン	カタログ	H21.0×W16.0	個人蔵
212	参考出品 15	ナナ・ディツェル/ヤアアン・ディツェル編	–	書籍『デンマークの椅子』	1954	–	カタログ	H23.4×W21.5	個人蔵
213	参考出品 16	–	–	アメリカの巡回展カタログ『デザイン・イン・スカンディナヴィア』	1954–1957	–	カタログ	H23.0×W18.3	個人蔵
214	参考出品 17	–	–	アメリカの雑誌広告：ダンスク社のキャンドルホルダー	–	–	印刷	H28.3×W19.6	個人蔵

No.	Cat. No.	デザイナー・作者名	生没年	作品名	デザイン年（制作年は[]内に記載）	制作・メーカー・クライアント名等	技法・材質	サイズ（cm） H×φ（高さ×直径） H×W×D（高さ×幅×奥行） L×W（長さ×幅）	所蔵
215	参考出品 18	−	−	アメリカの雑誌広告：ダンスク社の鍋〈コベンスタイル〉	−	−	印刷	H29.3×W21.5	個人蔵
216	参考出品 19	−	−	アメリカの雑誌広告：ダンスク社	−	−	印刷	H32.0×W23.0	個人蔵
217	参考出品 20	−	−	アメリカの雑誌広告：SAS（スカンディナヴィアン・エアラインズ・システム）			印刷	H32.0×W23.0	個人蔵
218	参考出品 21	−	−	アメリカの雑誌広告：ジョージ ジェンセン	−	−	印刷	H28.3×W19.6	個人蔵
219	参考出品 22	−	−	写真：〈エッグチェア〉に座る子どもたち	−	−	印刷	H8.9×W12.7	個人蔵

◎印刷物・会場作成物

・図録　B5判変型(21.0×14.5㎝)　260頁
内容:
ごあいさつ
謝辞
メッセージ
デンマーク王国
デンマーク・デザイン博物館
目次
人と社会に変革をもたらすデザインの物語(アネ=ルイーセ・ソマ)
磨き上げられた伝統―デンマーク・デザインの基礎概念(クレスチャン・ホルムステズ・オーレスン)
第1章　国際的評価を得た最初のデンマーク・デザイン
第2章　古典主義から機能主義へ
第3章　オーガニック・モダニズム―デンマーク・デザインの国際化
第4章　ポストモダニズムと現代のデンマーク・デザイン
執筆:アネ=ルイーセ・ソマ(デンマーク・デザイン博物館館長)、クレスチャン・ホルムステズ・オーレスン(デンマーク・デザイン博物館チーフキュレーター)、森谷紗世(静岡市美術館)、山口敦子(岐阜県現代陶芸美術館学芸員)、川口佳子(長崎県美術館学芸員)
翻訳:萬屋健司(山口県立美術館学芸員)、冨田康子(横須賀美術館学芸員)
デンマーク語原音表記・学術協力:大辺理恵(大阪大学外国語学部非常勤講師・関西外国語大学外国語学部非常勤講師)
編集:株式会社ブレーントラスト
デザイン:美術出版社デザインセンター
制作:美術出版社デザインセンター
発行:デンマーク・デザイン展カタログ委員会
発行年:2017年

・ポスター　B2
・チラシ　A4
・ジュニアガイド　6面蛇腹折り、14.8×14.8㎝
編集・発行:群馬県立館林美術館
デザイン:栗原幸治(クリ・ラボ)
制作:株式会社　グレートクー

・パネル
挨拶1枚、大使挨拶1枚、博物館紹介1枚、デンマーク紹介1枚、地図1枚、フィン・ユール邸写真3枚、作家解説12枚、作品解説15枚、メーカー解説18枚
・バナー
章バナー4枚、写真バナー5枚
・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事
(長文記事は末尾に＊、県内媒体の情報のみの記事は省略)

〔新聞等〕
・朝日ぐんま
8.10
「デンマーク・デザインの魅力に迫る企画展 館林美術館で26日まで」＊
・上毛新聞
7.5
「北欧のデザイン デンマーク・デザイン北欧発、豊かなくらしのかたち」〈先どりピックアップ！〉
7.24
「企画展「デンマーク・デザイン」より① 王室保護した至高のブルー」＊〈アートを愉しむ〉
7.25
「企画展「デンマーク・デザイン」より② デザインと実用性両立」＊〈アートを愉しむ〉
7.26
「企画展「デンマーク・デザイン」より③ 新素材使い量産に対応」＊〈アートを愉しむ〉
7.27
「企画展「デンマーク・デザイン」より④ 新しい素材大胆な形状」＊〈アートを愉しむ〉
「デンマーク 暮らしの品 館林美術館でデザイン展」〈東毛〉
7.28
「企画展「デンマーク・デザイン」より⑤ 伸びた両腕多彩な表情」＊〈アートを愉しむ〉
・上毛新聞 シャトル
4.19
「県立館林美術館 本年度の展覧会を紹介 デザインや造形の魅力」＊〈たてびアート散歩〉(学芸員 佐原しおり)
8.2
「家具や照明器具 デンマーク・デザイン 北欧発、豊かな暮らしのかたち」〈イベント情報〉
8.16
「県立館林美術館 企画展「デンマーク・デザイン」シンプルで高機能」＊〈たてびアート散歩〉(学芸員 野澤広紀)
・タウンぐんま
7.13
「日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念 デンマーク・デザイン 北欧発、豊かな暮らしのかたち」〈EVENT INFORMATION〉」
7.20
「温かくて居心地のいい時間を叶えるデンマーク・デザインの企画展」＊〈WEEKLY TOPIC〉
・東京新聞
8.20

〔定期刊行物〕

・raifu

7月号

「デンマークのデザイン史を辿る日本初の展覧会」

8月号、9月号

「群馬県立館林美術館」〈Art&Stage Event〉

◎放送

〔ラジオ〕

・FM桐生

7.10

「企画展示「デンマーク・デザイン」学芸員による作品解説会のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

・FM太郎

7.12

「企画展示「デンマーク・デザイン」学芸員による作品解説会のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

〔テレビ〕

・群馬テレビ

8.3

「県立館林美術館　デンマークのデザインを紹介」〈news eye 8〉〈ニュースeye8〉

◎関連事業

・トークイベント

7.29

「デンマークの豊かな暮らし」

講師：芳子ビューエル氏（北欧流ワークライフデザイナー）

・ワークショップ

8.18

「おしゃれな‘ほっこりライト’を作ろう！」

協力：群馬県立女子大学 奥西ゼミ

・学芸員による作品解説会

7.18、8.4、8/17

・たてび☆キッズウォーク

展示室2

展示室3

展示室4

展示室4

3. 時代に生き、時代を超える　板橋区立美術館コレクションの日本近代洋画1920s−1950s

会期　　平成30年9月15日（土）～12月24日（月・振休）
会場　　展示室2、3、4
主催　　群馬県立館林美術館
特別協力　板橋区立美術館
協賛　　ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、
　　日本テレビ放送網
後援　　上毛新聞社、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞
　　前橋支局、産経新聞前橋支局、NHK前橋放送局、
　　群馬テレビ、朝日ぐんま、株式会社 エフエム群馬
観覧料　　一般820（650）円　大高生410（320）円
　　（　）内は、20名以上の団体割引料金

板橋区立美術館は1979年の開館以来、「昭和の前衛美術」、とりわけ戦前に若い芸術家たちが集ったアトリエ村「池袋モンパルナス」に関する作品を中心に収集し、他に類を見ない優れたコレクションを形成してきた。同館の収蔵作品は、日本近代美術の流れを示すと同時に、生活と制作を懸命に両立させようとした作家たちの存在そのものを浮き彫りにしている。

1920年代から50年代の日本では、関東大震災や金融恐慌、それに続くアジア・太平洋戦争、そして敗戦と占領など、大きな社会変動が起こった。本展では板橋区立美術館のコレクションと共に各時代を振り返り、それぞれの作家たちがどのような現実を抱え、何を描きとったのかを掘り下げて紹介した。

本展では、板橋区立美術館の全面的な協力のもと、同館のコレクション作品112点を一堂に展示した。大正時代の新興美術運動を担った河辺昌久や村山知義らをはじめ、「池袋モンパルナス」に居を構えた寺田政明、松本竣介、麻生三郎、男性偏重の美術界で貪欲に制作を続けた芥川（間所）紗織、桂ゆきたち女性作家など73名の作家を紹介し、日本近代美術における多様な展開を通観した。

さらに当館および群馬県立近代美術館のコレクションから、福沢一郎、鶴岡政男、藤牧義夫ら群馬県出身の作家5名による絵画作品13点もあわせて展示した。また、戦時中に軍用機生産を担っていた中島飛行機の記録類や、戦意高揚を目的とする双六、紙芝居など、県内の博物館・文学館・資料館が所蔵する同時代の歴史的資料26点を展示し、作家たちが生きた時代の様子を紹介した。

会期中は、板橋区立美術館学芸員の弘中智子氏によるオープニング・トークをはじめ、多彩な関連事業を実施した。

ポスター

図録

ジュニアガイド

出品目録

1. 都市・労働・生活

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横 または 高さ×幅×奥行	所蔵先 *記載がないものは 板橋区立美術館蔵	展示期間
1	小林邦二	夏の日	1940	油彩・カンヴァス	99.8×80.5		
2	田中佐一郎	三人掛け	1947	油彩・カンヴァス	91.0×116.5		
3	横井礼以(禮市)	子供たち	1925年頃	水彩・紙	25.0×30.5		9/15～11/4
4	福沢一郎	父と子	1937	油彩・カンヴァス	28.0×20.0		
5	鈴木保徳	農人C	1939	油彩・カンヴァス	162.2×112.2		
6	野田英夫	上野山下風景	1938	油彩・カンヴァス	53.1×45.7		
7	野田英夫	車内	1938	油彩・カンヴァス	44.5×33.5		
8	高山良策	食事	1947	油彩・カンヴァス	73.0×53.0		
9	高山良策	1948年	1949	油彩・カンヴァス	112.5×145.0		11/6～12/24
10	石井茂雄	不安な都市シリーズ ―不安な階段	1956年頃	油彩・カンヴァス	116.8×91.0		
11	河辺昌久	メカニズム	1924	油彩、コラージュ・ カンヴァス	65.2×53.0		
12	河辺昌久	作品A	1925年頃	油彩、コラージュ・板	23.8×33.0		
13	河辺昌久	作品B	1925年頃	油彩、コラージュ・板	35.8×25.5		
14	中原實	青の周辺	1927	油彩・カンヴァス	41.0×24.5		
15	村山知義	赤い大地	1928	油彩・カンヴァス	37.8×45.5		
16	吉田謙吉	婦人像	1925	油彩・カンヴァス	52.7×45.3		
17	浅野孟府	顔	1926	パラフィン・石膏	34.2×18.0×20.0		
18	永田一脩	『プラウダ』を持つ蔵原惟人	1928	油彩・カンヴァス	100.0×80.0	板橋区立美術館寄託	
19	永井潔	蔵原惟人像	1947	油彩・カンヴァス	65.3×51.2	板橋区立美術館寄託	
20	藤牧義夫	しねま (『新版画』第7号貼込)	1932年以前	木版・紙	15.3×11.4	群馬県立館林美術館	11/6～12/24
21	藤牧義夫	図案(都市風景)	1933年頃	水彩・紙	23.7×28.8	群馬県立館林美術館 寄託	9/15～11/4
22	小野忠重(構成)	鐵―版画編集試作 (『新版画』第9号より)	1933年以前	木版・紙	29.0×22.1	群馬県立館林美術館	
23	藤牧義夫	国会議事堂 (『新版画』第14号表紙)	1934年以前	木版・紙	12.4×14.3	群馬県立館林美術館	9/15～11/4
24	藤牧義夫	まくら橋 (『新版画』第14号貼込)	1934年以前	木版・紙	12.2×9.2	群馬県立館林美術館	11/6～12/24
25	藤牧義夫	『新版画』第17号表紙	1935年以前	木版・紙	29.8×22.1	群馬県立館林美術館	11/6～12/24
26	藤牧義夫	裏街 (『新版画』第17号貼込)	1935年以前	木版・紙	15.0×12.0	群馬県立館林美術館	9/15～11/4
27	藤牧義夫	川面 (『新版画』第17号貼込)	1935年以前	木版・紙	9.5×12.5	群馬県立館林美術館	11/6～12/24
28	佐藤哲三	田端車庫	1930	木炭、鉛筆・紙	43.7×58.2		9/15～11/4
29	菊地精二	ガード	1929	油彩・カンヴァス	90.8×116.5		11/6～12/24
30	榎倉省吾	選炭婦	1944	油彩・紙	38.0×29.6		
31	松島一郎	人夫	1935年頃	油彩・カンヴァス	116.0×90.0		
32	寺田政明	八幡製鉄所	1945	油彩・カンヴァス	72.6×90.8		
33	入江比呂	薪炭(戦時配給)	1942	レリーフ・石膏	15.4×23.0		
34	入江比呂	群(米よこせ)	1946	レリーフ・石膏	23.4×40.1		
35	池田龍雄	腕	1953	油彩・カンヴァス	72.7×60.6		

2. 日本とシュルレアリスム

36	伊藤久三郎	遅疑	1933	油彩・カンヴァス	91.0×116.8		
37	伊藤久三郎	振子	1937	油彩・カンヴァス	130.3×162.7		
38	伊藤久三郎	Toleration	1938	油彩・カンヴァス	112.2×145.2		
39	村瀬静孝	ひとで	1934	油彩・カンヴァス	46.0×38.5		
40	浜松小源太	失風景	1937	油彩・カンヴァス	65.0×53.0		
41	小牧源太郎	生誕譜No.1	1938	油彩・カンヴァス	53.0×72.7		
42	真鍋(金子)英雄	水辺	1941	油彩・カンヴァス	123.5×161.0		
43	原田直康	幻想	1939	油彩・カンヴァス	89.7×145.3		
44	諸町新	ある季節	1933	油彩・カンヴァス	80.3×60.6		
45	山口薫	蛸壺など	1939	油彩・カンヴァス	80.3×100.0	群馬県立近代美術館	
46	吉加江京司(清)	木の皮(其の一)	1943	油彩・カンヴァス	90.0×72.0		

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横 または 高さ×幅×奥行	所蔵先 *記載がないものは 板橋区立美術館蔵	展示期間
47	難波田龍起	ヴィナスと少	1936	油彩・カンヴァス	65.2×53.0		
48	大沢昌助	岩と花	1940	油彩・カンヴァス	116.8×91.0		
49	高松甚二郎	少	1936	油彩・カンヴァス	49.8×60.5		
50	藤田鶴夫	懊悩	1936	油彩・カンヴァス	72.8×91.7		
51	福沢一郎	ダンテ神曲より	1946	油彩・カンヴァス	80.3×116.7	群馬県立近代美術館	
52	福沢一郎	憂川(ダンテ神曲による幻想)	1946	油彩・カンヴァス	45.3×52.8		
53	高山良策	トランペット	1947	油彩・カンヴァス	60.5×72.5		
54	白木正一	追憶	1952	油彩・カンヴァス	65.3×80.5		

3. 抽象を描く

55	山口長男	頭	1930	油彩・カンヴァス	40.8×32.8		
56	池ノ内篤人	ナイス・モーニング	1933	油彩・カンヴァス	158.0×129.0		
57	永井東三郎	作品	1938	油彩・カンヴァス	44.8×52.5		
58	永井東三郎	作品B	1940 再制作	木 ほか	19.3×19.1×16.1		
59	吉原治良	作品	1943-1947 年頃	油彩・カンヴァス	121.0×95.0		
60	末松正樹	作品(1944.4.2)	1944	コンテ・紙	20.5×23.6		9/15～11/4
61	末松正樹	作品(1944.11.22)	1944	コンテ・紙	22.0×25.5		9/15～11/4
62	末松正樹	作品(1945.3.18)	1945	コンテ・紙	20.0×24.3		11/6～12/24
63	末松正樹	作品(1945.3.23)	1945	コンテ・紙	20.3×23.8		11/6～12/24
64	末松正樹	作品(1945.3.25)	1945	コンテ・紙	20.0×23.5		9/15～11/4
65	末松正樹	作品(1945.5.1)	1945	コンテ、鉛筆・紙	20.3×24.3		9/15～11/4
66	末松正樹	作品(1945.7.10)	1945	水彩、コンテ、鉛筆・紙	18.0×23.5		11/6～12/24
67	末松正樹	群像(原始への郷愁)〈デッサン〉	1947	コンテ、鉛筆・紙	20.4×27.5		11/6～12/24
68	利根山光人	メカニズムの勝利	1952	油彩、コールタール・ベニヤ板	55.6×35.5		
69	北代省三	冥府のオルフェウス	1953	油彩・木製パネル	41.0×31.8		
70	桂ゆき	冠	1939(1979 年再制作)	油彩・カンヴァス	91.5×117.0		
71	片谷曖子(美香)	歌聲	1952	油彩・カンヴァス	49.8×65.4		
72	榎本和子	断面(Ⅰ)	1951	油彩・カンヴァス	116.5×91.0		
73	福島秀子	Work	1960	油彩・カンヴァス	130.0×97.0		
74	阿部展也	顔のうしろの顔	1957	油彩・ボード	72.7×60.3		
75	井上照子	まひる	1953	油彩・カンヴァス	80.4×60.5		
76	漆原英子	MICROCOSM	1951	油彩・カンヴァス	65.0×53.2		
77	杉全直	連帯	1954	油彩・カンヴァス	162.1×112.1		

4. 戦争・占領・美術

78	難波架空像 (香久三)	地方行政官A氏の像	1936/1990	油彩・カンヴァス	100.0×64.8		
79	難波架空像 (香久三)	イギリスの焦躁	1939/1990	油彩・カンヴァス	160.0×130.5		
80	難波架空像 (香久三)	蒋介石よ何処へ行く	1939	油彩・板	40.8×31.9		
81	柿手春三	歩兵(エスキース)	1936	油彩・カンヴァス	97.0×135.9		
82	佐田勝	廃砲A「戦利品A」	1939	油彩・カンヴァス	56.5×114.5		
83	佐田勝	廃砲B「戦利品B」	1939	油彩・カンヴァス	56.5×114.5		
84	井上長三郎	漂流	1943 後年改作	油彩・カンヴァス	140.8×192.4	板橋区立美術館寄託	
85	森堯之	風景	1938	油彩・カンヴァス	41.0×32.0		
86	清水登之	長城	1938	油彩・カンヴァス	53.0×65.0		
87	大塚睦	地割れのある風景 (風景A)	1940	油彩・カンヴァス	116.3×91.0		

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横 または 高さ×幅×奥行	所蔵先 *記載がないものは 板橋区立美術館蔵	展示期間
88	柳瀬正夢	合歓の花(天安門)	1939	油彩・カンヴァス	45.4×38.0		
89	柳瀬正夢	ロマノフカ村の少年	1943	水彩・紙	31.0×22.0		9/15～11/4
90	柳瀬正夢	少女	1943	水彩・紙	23.3×32.0		11/6～12/24
91	山本日子士良	戦中スケッチ一式	不詳	水彩、コンテ、鉛筆・紙 ほか			
92-1	古沢岩美	修羅餓鬼 Ⅶ 苦役	1960-1993	エッチング・紙	18.0×25.0		11/6～12/24
92-2	古沢岩美	修羅餓鬼 Ⅷ 後送貨車	1960-1993	エッチング・紙	13.3×16.5		9/15～11/4
92-3	古沢岩美	修羅餓鬼 ⅩⅢ 掠奪	1960-1993	エッチング・紙	24.8×18.0		11/6～12/24
92-4	古沢岩美	修羅餓鬼 ⅩⅣ 犬死	1960-1993	エッチング・紙	18.3×20.0		11/6～12/24
92-5	古沢岩美	修羅餓鬼 ⅩⅩⅠ 屍	1960-1993	エッチング・紙	27.8×17.6		9/15～11/4
92-6	古沢岩美	修羅餓鬼 ⅩⅩⅡ 桃花原	1960-1993	エッチング・紙	18.0×24.5		9/15～11/4
92-7	古沢岩美	修羅餓鬼 ⅩⅩⅣ 斬	1960-1993	エッチング・紙	25.0×18.0		9/15～11/4
92-8	古沢岩美	修羅餓鬼 ⅩⅩⅤ 屍体清掃	1960-1993	エッチング・紙	20.0×17.8		11/6～12/24
93	新海覚雄	貯蓄報国	1943	油彩・カンヴァス	112.4×163.0		
94	塚本茂	千人針を縫う	1943	油彩・カンヴァス	117.0×90.0	群馬県立近代美術館	
95	池田龍雄	僕らを傷つけたもの ―1945年の記憶―	1954	油彩・カンヴァス	131.0×162.2		
96	池田龍雄	アメリカ兵・子供・バラック	1953	油彩、インク・紙	24.4×34.1		9/15～11/4
97	池田龍雄	大通り	1954	油彩、インク・紙	24.5×30.8		11/6～12/24
98	中村宏	富士二合	1955	油彩・カンヴァス	73.0×92.0		
99	村上善男	区分(内灘にて)	1955	油彩・カンヴァス	60.0×129.0		
100	作者不詳	きぬこすり	1950年代	油彩・絹			
101	靆嘔	悲劇よりもより悲痛なるものの静寂1	1953	油彩、水彩、グワッシュ・紙	103.0×103.0		
102	山下菊二	祈祷師	1956	油彩・カンヴァス	182.0×243.0		
103	鶴岡政男	夜の群像	1949	油彩・板	121.0×154.0	群馬県立近代美術館	
104	鶴岡政男	転がっている首	1950	ブロンズ	16.8×21.0×17.5	群馬県立館林美術館	
105	井上長三郎	寓話	1959	油彩・カンヴァス	175.0×193.5		
106	古沢岩美	なぐさめもだえ	1949	油彩・カンヴァス	192.0×151.0		
107	山下菊二	オ時間デスヨ	1950	油彩・カンヴァス	40.3×24.3		
108	早瀬龍江	自嘲	1951	油彩・カンヴァス	65.0×80.0		
109	漆原英子	CLOWN	1956	油彩・カンヴァス	91.0×73.0		
110	芥川(間所)紗織	女	1955	染色・綿布	131.0×98.4		

5. コミュニティとしての池袋モンパルナス

111	林武	文化村風景	1926	油彩・カンヴァス	53.0×65.0		
112	田中佐一郎	建物のある風景	1935年頃	油彩・カンヴァス	112.0×145.0		
113	長谷川利行	支那之白服	1939	油彩・板	26.2×21.4		
114	峯孝	寺田政明像	不詳	ブロンズ	44.0×24.0×16.5		
115	古沢岩美	挿絵原画 大田洋子著『櫻の国』	1940	水彩、ペン、鉛筆、コンテ・紙 ほか			
116	古沢岩美	軍事郵便	1943-1946	水彩、ペン、鉛筆・紙 ほか			
117	古沢岩美	像	1952	油彩・カンヴァス	99.0×64.0		
118	古沢敏子	K子の晩餐	1951	油彩・カンヴァス	65.5×100.0		
119	古沢敏子	ヌード(習作)	1953	油彩・カンヴァス	53.0×45.0		
120	古沢敏子	陶房	1960	油彩・カンヴァス	100.0×64.5		
121	松本竣介	りんご	1944	油彩・板	27.3×21.5	板橋区立美術館寄託	
122	麻生三郎	女	1944	油彩・板	33.5×24.5		
123	麻生三郎	一子像	1944	油彩・カンヴァス	46.6×38.0		
124	井上照子	公園	1938―1940	油彩・カンヴァス	52.8×65.0		
125	井上長三郎	静物(骨と布)	1935	油彩・カンヴァス	60.8×50.0		

資料［書籍・雑誌］

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横 または 高さ×幅×奥行	所蔵先 *記載がないものは 板橋区立美術館蔵	展示期間
1−1	村山知義、岡田龍夫、萩原恭次郎編	『マヴォ』5号	1925.6	長隆舎書店			
1−2	村山知義、岡田龍夫、萩原恭次郎編	『マヴォ』6号	1925.7	長隆舎書店			
1−3	村山知義、岡田龍夫、萩原恭次郎編	『マヴォ』7号	1925.8	長隆舎書店			
2	萩原恭次郎	『死刑宣告:詩集』	1925.1	長隆舎書店		群馬県立土屋文明記念文学館	
3	萩原恭次郎	『特選名著復刊全集 近代文学館 死刑宣告:詩集』	1981.12 (1925年 長隆堂書店 刊の復刻)	日本近代文学館		群馬県立館林美術館	
4	内務省社会局編	『大正震災志 附図』	1926.2	内務省社会局		前橋市総合教育プラザ	
5	永田一脩	『プロレタリア絵画論 新芸術論システム』	1930.5	天人社		群馬県立館林美術館	
6	今和次郎、吉田謙吉編著	『モデルノロヂオ:考現学』	1986.12 (1930年 春陽堂刊 の復刻)	学陽書房		群馬県立図書館	
7		『美術文化』1-6号	1939.8-1941.4	美術文化協会			
8	陸軍省・海軍省編	『靖国之絵巻 昭和十八年春季大祭記念』	1943	陸軍美術協会		群馬県立土屋文明記念文学館	
9	陸軍省・海軍省編	『靖国之絵巻 昭和十八年秋季大祭記念』	1943	陸軍美術協会		群馬県立土屋文明記念文学館	
10	陸軍省・海軍省編	『靖国之絵巻 昭和十九年春季大祭記念』	1944.4	陸軍美術協会		群馬県立土屋文明記念文学館	
11	藤田嗣治	『絵巻アッツ島血戦』	1944.7	陸軍美術協会		群馬県立土屋文明記念文学館	
12		『少国民新聞』1333号 附録「新年こども隣組双六」	1941.1.1	東京日日新聞社		群馬県立土屋文明記念文学館	
13		『幼年倶楽部』15巻11号	1940.11	大日本雄弁会講談社		群馬県立土屋文明記念文学館	
14		『機械化』7巻4号	1944.4	機械化国防協会機械化編集部		群馬県立土屋文明記念文学館	
15		『若桜』1巻4号	1944.8	大日本雄弁会講談社		群馬県立土屋文明記念文学館	
16		『少年倶楽部』32巻2号	1945.2	大日本雄弁会講談社		群馬県立土屋文明記念文学館	
17		『少年倶楽部』32巻7号	1945.1	大日本雄弁会講談社		群馬県立土屋文明記念文学館	
18		『少年倶楽部』33巻2号	1946.2	大日本雄弁会講談社		群馬県立土屋文明記念文学館	
19		文部省『ヨイコドモ　上』	1944.2	東京書籍		群馬県立土屋文明記念文学館	

資料［その他資料］

20		日本美術及工芸統制協会 画布購入票(寺田政明)	1944				
21		日本美術及工芸統制協会 油絵具購入票(寺田政明)	1944				
22		日本美術及工芸統制協会 領収書(寺田政明)	1944				
23		絵画慰問行動計画 (寺田政明)	1944				
24		愛国イロハカルタ (日本玩具統制協会)	1943			群馬県立土屋文明記念文学館	
25		大東亜戦争完遂 大建設 翼賛選挙貫徹運動 〈紙芝居〉	1942			館林市立資料館	
26		撃ちてしやまむ(陸軍記念日の言葉)〈紙芝居〉	1944年頃			館林市立資料館	
27		ハルピン案内パンフレット	1939			前橋市総合教育プラザ	
28		康徳六年 満州建設 勤労奉仕隊手牒	1939			前橋市総合教育プラザ	
29		ポスター 中島飛行機小泉製作所「少工員大募集」				群馬県立歴史博物館	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横 または 高さ×幅×奥行	所蔵先 *記載がないものは 板橋区立美術館蔵	展示期間
30		中島飛行機太田製作所 工員従業規則	1943			群馬県立歴史博物館	
31		中島飛行機小泉工場書類 強制徹夜ノタメ甘味品特別 配給賜リ度件申請	1945			群馬県立歴史博物館	
32		中島飛行機尾島工場 食券				群馬県立歴史博物館	
33		千人針				群馬県立歴史博物館	
34		疎開児童調 (館林町南国民小学校)	1946			館林市教育研究所	
35		第3回 NOVA美術協会 展覧会目録	1933				
36		第4回 NOVA美術協会 展覧会目録	1934				
37		諸町新《阻止》絵はがき (第4回 NOVA美術展覧会 出品)	1934				
38		第1回 新人画会展 はがき	1943				
39		第1回 新人画会々員油絵 展覧会 はがき	1943				

◎印刷物・会場作成物

・図録　A4版(29.6×22.4cm)　112頁
内容:
「板橋区立美術館のコレクションとその意義」(弘中智子)
「時代に生きよ時代を超えよ――板橋区立美術館コレクションをめぐって」(佐原しおり)
図版
1. 都市・労働・生活
2. 日本とシュルレアリスム
3. 抽象を描く
4. 戦争・占領・美術
5. コミュニティとしての池袋モンパルナス
関連資料[書籍・雑誌・玩具・印刷物等]
難波香久三手記「画歴のためのメモ」
作品目録・解説
資料目録・解説
略歴
関連年表
編集:群馬県立館林美術館
　　松下由里
　　徳江庸行
　　野澤広紀
　　佐原しおり
執筆:弘中智子(板橋区立美術館)
　　佐原しおり
制作:株式会社印象社
印刷:東京印書館
発行:群馬県立館林美術館
発行日:2018年9月15日

・ポスター　B2
・チラシ　A4
・ジュニアガイド　蛇腹三つ折り折り、38.1×18.2cm
制作:印象社

・パネル
挨拶1枚、章解説5枚、テーマ解説1枚、写真解説1枚、会場配布用作品リスト

◎主要関連記事
(長文記事は末尾に＊、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]
・朝日ぐんま
10.26
「時代を超える画」〈総局長日記〉＊
11.23
「時代に生き、時代を超える 板橋区立美術館コレクションの日本近代洋画1920s-1950s 画家たちが「生きた時代」の温度感じて」〈文化紀行〉＊(学芸員 佐原しおり)
・上毛新聞
9.7、9.15
「時代に生き、時代を超える 板橋区立美術館コレクションの日本近代洋画1920s-1950s」〈ぱれっと〉
10.2
「企画展「時代に生き、時代を超える」より① 社会問題を絵画で告発」〈アートを愉しむ〉＊
10.3
「企画展「時代に生き、時代を超える」より② 「太鼓持ち」上司を揶揄」〈アートを愉しむ〉＊
10.4
「企画展「時代に生き、時代を超える」より③ 虜囚の生活 画中で舞踏」〈アートを愉しむ〉＊
10.10
「企画展「時代に生き、時代を超える」より④ 異様な手足 戦後の混沌」〈アートを愉しむ〉＊
10.11
「企画展「時代に生き、時代を超える」より⑤ 抑圧された 本人思わす」〈アートを愉しむ〉＊
11.15
「戦時下の美術 記念講演会」〈ぱれっと〉
・上毛新聞 シャトル
4.19
「本年度の展覧会を紹介 デザインや造形の魅力」〈たてびアート散歩〉＊
10.11
「昭和の前衛美術 時代に生き、時代を超える 板橋区立美術館コレクションの日本近代洋画1920s-1950s」
10.18
「板橋区立美術館コレクション展 厳しい時代 画家の対峙」〈たてびアート散歩〉＊(学芸員 佐原しおり)
・東京新聞
10.19
「県立館林美術館で企画展 時代映す日本の近代洋画120点」
・読売新聞
9.6
「板橋区立美術館コレクションの日本近代洋画1920s-1950s」
9.16
「芸術の秋 深まる 舞台の華やかな世界 迫力戦時中の絵画」＊
11.2
「時代に生き、時代を超える 板橋区立美術館コレクションの日本近代洋

画1920s−1950s 上「機械化」新しい時代象徴」＊（学芸員 佐原しおり）
11.6
「時代に生き、時代を超える 板橋区立美術館コレクションの日本近代洋画1920s−1950s 下 戦時下人々の暮らし描く」＊（学芸員 佐原しおり）
・両毛新聞
9.19
「時代に生き、時代を超える 群馬県立館林美術館」＊

〔定期刊行物〕
・博物館研究
10月号
「群馬県立館林美術館」〈展覧会（美術）〉
・美術の窓
10月号
「時代に生き、時代を超える 板橋区立美術館コレクションの日本近代洋画1920s−1950s」〈話題の展覧会〉
・WEB版美術手帖
10.16
「渦中の美術家が抱えていた現実。長谷川新評 「時代に生き、時代を超える 板橋区立美術館コレクションの日本近代洋画1920s－1950s」展」〈REVIEW〉
・美連協ニュース
11月号
「時代に生き、時代を超える 板橋区立美術館コレクションの日本近代洋画1920s−1950s」〈加盟館展覧会案内〉
・月刊 MOSTLY　CLASSIC
「「時代に生き、時代を超える」展 群馬県立館林美術館」〈Art〉＊
・raifu
9月号、10月号、11月号、12月号
「群馬県立館林美術館」〈Art&Stage Event〉

◎放送

〔ラジオ〕
・FM桐生
9.13
「企画展示「時代に生き、時代を超える」展のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉
10.23
「企画展示「時代に生き、時代を超える」展 学芸員による作品解説会」〈ぐんまいきいき情報〉
11.20
「企画展示「時代に生き、時代を超える」展 記念講演会」〈ぐんまいきいき情報〉
12.11
「たてび☆キッズウォークについて」〈ぐんまいきいき情報〉

〔テレビ〕
・群馬テレビ
10.19
「県立館林美術館　激動の時代に描かれた近代洋画展(時代に生き、時代を超える)」〈ニュースジャスト6〉
・館林ケーブルテレビ
10.29−11.4
「群馬県立館林美術館『時代に生き、時代を超える』」〈うらら〉

◎関連事業

・オープニング・トーク
9.15
「板橋区立美術館コレクションに見る日本の近代前衛絵画の流れ」
講師：弘中智子（板橋区立美術館学芸員）
・記念講演会
11.24
「「ドロでだって絵は描ける」の背景――戦時下の美術統制のこと」
講師：迫内祐司（小杉放菴記念日光美術館学芸員）
・ワークショップ
10.14
「戦時下における作品制作術」
講師：ユアサエボシ氏（美術家）
・おしゃべり鑑賞会
12.9
協力：対話型アート鑑賞ラボ
・学芸員による作品解説会
9.23、10.24、12.8
・たてび☆びじゅつ部
11.10、12.2
「ちょこっと画家体験」
・たてび☆キッズウォーク
9.29、10.20、11.17、12.15

展示室2

展示室2

展示室3

展示室4

4. エキゾティック×モダン　異境への眼差し

会期　　平成31年1月22日（火）～3月31日（日）
会場　　展示室2、3、4
主催　　群馬県立館林美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協賛　　ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網
協力　　日本航空、ルフトハンザ カーゴ AG
後援　　在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、日仏会館・フランス国立日本研究所
観覧料　一般820（650）円　大高生410（320）円
（　）内は、20名以上の団体割引料金

両大戦間期と言われる1920～30年代のフランスでは、美術やファッション、宝飾、家具などの装飾に新しい美意識が生まれた。本展は、「アール・デコ」と呼ばれるこの時代の装飾スタイルにおける新しい時代感覚すなわち「モダン」の源の一つとして、「エキゾティック」な要素に着目したものである。

20世紀初め、ファッションに革命をおこしたポール・ポワレによる中近東やアジアを着想源とした衣服、1922年のツタンカーメン王墓の発見を機とするエジプトブームを反映したジュエリー、漆芸家の菅原精造に学んだジャン・デュナンの工芸品、あるいは東洋に倣った陶磁器など、アール・デコの作品では形、素材、技術の面において、非ヨーロッパ圏の芸術を応用した作例が見出される。

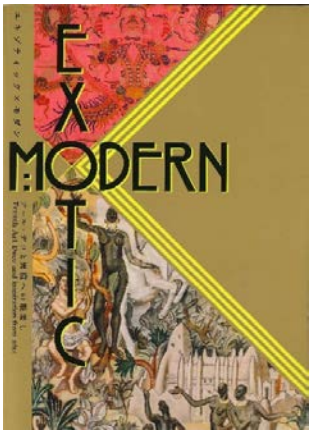
この時代の異国は、夢見るものから自ら赴く場所へと変化していた。シトロエンによるアフリカ縦断・アジア横断クルージング、植民地での美術学校創設、留学奨励などにより現地に取材した芸術家たちが、ダイナミックな絵画、彫刻を生み出す。パリでは、アメリカの黒人歌手・ダンサーのジョセフィン・ベイカーの活躍や、1931年の「国際植民地博覧会」開催、珍しい動物がもたらされた動物園の人気など、エキゾティックで活力あるシーンが都市を賑わせた。

本展では、フランス所蔵の国内初公開作品を含む、衣装、ジュエリー、家具や工芸品、雑誌・ポスター、彫刻、絵画など、国内外の作品約90点を通して、アール・デコにおける異境への眼差しを見ていった。

本展は、日本のアール・デコ建築を代表する東京都庭園美術館と、アール・デコ期に活躍したフランソワ・ポンポンの動物彫刻を所蔵する当館の二会場を巡回したもので、当館のポンポン作品7点も出品された。当館会場では、東京都庭園美術館が所蔵するアール・デコの作品・資料約30点を加え、同館の建築についてもパネルで紹介。またポンポンとエキゾティシズムの関わりを示す動物園の絵はがきなどの資料も展示し、充実した内容での開催となった。

会期中は関連事業として、アール・デコとエキゾティシズムについて東京都庭園美術館事業企画係長の関昭郎氏による記念講演会、ポンポンに関連して、2018年にフランスで行った調査についてのレクチャーなどを開催した。

ポスター



図録

ジュニアガイド

出品目録

特集展示1　アール・デコ博覧会と旧朝香宮邸

No.	作者名	作品名	制作年	寸法(cm) 縦×横または 高さ×幅×奥行	技法・材質	所蔵先
1	シャルル・ルーポ	《現代装飾美術・産業美術国際博覧会》ポスター	1925	97.8×62.8	彩色リトグラフ、紙	東京都庭園美術館
2	エミール＝アントワーヌ・ブールデル	《現代装飾美術・産業美術国際博覧会》ポスター	1925	60×40.5	彩色リトグラフ、紙	東京都庭園美術館
3		《現代装飾美術・産業美術国際博覧会》公式カタログ	1925	21.4×13.3		東京都庭園美術館
4		《現代装飾美術・産業美術国際博覧会》入場券	1925			東京都庭園美術館
5	ピエール・チュラン	《現代装飾美術・産業美術国際博覧会》公式メダル	1925	6×6	鋳金	東京都庭園美術館
6		日本産業協会刊『日本出品者ガイド』	1925	18.6×12	書籍(紙、印刷)	東京都庭園美術館
7		1925年10月24日「現代装飾美術・産業美術国際博覧会 芸術の夕べ」プログラム	1925	17.7×15.5		東京都庭園美術館
8		《現代装飾美術・産業美術国際博覧会》全図	1925	45×56		東京都庭園美術館
9		『20世紀近代装飾芸術百科事典』	1925	24×29	書籍(紙、印刷)	東京都庭園美術館
10		『イリュストラシオン』	1925		書籍(紙、印刷)	東京都庭園美術館
11		『イリュストラシオン』	1933		書籍(紙、印刷)	東京都庭園美術館
12	ルネ・シャヴァンス	『フランス大使の館』	1925		書籍(紙、印刷、ポショワール)	東京都庭園美術館
13		日本セクションカタログ	1925		書籍(紙、印刷)	東京都庭園美術館
14	アンリ・ラパン	サント=ヴィクトワール山麓、2人の子どもがいるプロヴァンス地方の風景	1920-30	100×60	油彩、カンヴァス	東京都庭園美術館
15	ルネ・ラリック	カーマスコット《 勝利の女神 》	1928	16×26.5	プレス成形、透明ガラス、サチネ、金属付属	東京都庭園美術館
16	ルネ・ラリック	グラスセット《 トウキョウ 》	1930s	17.5×16.5	ガラス	東京都庭園美術館
17	ルネ・ラリック	燭台《 トウキョウ 》	1930	21	ガラス	東京都庭園美術館
18	イヴァン＝レオン・アレクサンドル・ブランショ	朝香宮允子妃像(立像)	1925	32.6×25.8×14.8	ブロンズ	東京都庭園美術館
19	バンスラン	《 ブレスレット 》	c.1924	18.6×2.6×0.5	ダイヤモンド、プラチナ	個人蔵

第1章　モードのエキゾティシズム

20	ピエール＝エミール・ルグラン	アフリカの椅子	c.1924	78.1×45×45	ヤシの木に彫刻、漆装飾の背、羊皮で包まれた合板の座	装飾美術館 (パリ)
21	マン・レイ	黒と白	1926	24.9×34.5	ゼラチン・シルバー・プリント	東京都写真美術館
22	ポール・ポワレ	デイ・ドレス	c.1920		絹	東京都庭園美術館
23	ポール・ポワレ	ローブ	c.1920		サテン・シルク	藤田真理子、ポール・ジュリアン・アレキサンダー
24	ジョルジュ・バルビエ	「素晴らしい人:ウォルトのイブニング・ドレス」『ガゼット・デュ・ボン・トン』より (No.7 Pl.56)	1924-25	27×20	オフセット・ポショワール、紙	東京都庭園美術館
25		「オリエントの幻影」『ガゼット・デュ・ボン・トン』より No.8	1924-25			東京都庭園美術館
26		「サハラの真ん中へ」『ガゼット・デュ・ボン・トン』より No.9	1924-25			東京都庭園美術館
27		コックス・アート・ギャラリー、ニューヨーク 展覧会カタログ『エルテ(ロマン・ド・ティルトフ)』	1929			東京都庭園美術館
28	ジャン・デュパ	射手	1931	95×53	インク、パステル、水彩絵の具、紙	東京都庭園美術館
29	ヴァン クリーフ＆アーペル	ターバン留めのブローチ	1924	8×5.2×1	プラチナ、エメラルド、サファイア、ルビー、ダイヤモンド	ヴァン クリーフ＆アーペル

No.	作者名	作品名	制作年	寸法(cm) 縦×横または 高さ×幅×奥行	技法・材質	所蔵先
30	ヴァン クリーフ&アーペル	エジプト風ブローチ	1925	4.2×5.9	プラチナ、エメラルド、ルビー、シマメノウ、ダイヤモンド	ヴァン クリーフ&アーペル
31	ヴァン クリーフ&アーペル	エジプト風ブレスレット	1924	18.4×1.1	プラチナ、サファイア、ルビー、エメラルド、シマメノウ、ダイヤモンド	ヴァン クリーフ&アーペル
32	ヴァン クリーフ&アーペル	中国風の卓上時計	1930	12×7×7	イエロー・ゴールド、彫刻されたターコイズ、シマメノウ、ラピスラズリ、エナメル	ヴァン クリーフ&アーペル
33	ヴァン クリーフ&アーペル	アヒルの卓上時計	1930	6.5×8.4×2.2	イエロー・ゴールド、翡翠、エナメル、ダイヤモンド	ヴァン クリーフ&アーペル
34	ヴァン クリーフ&アーペル	中国の風景のラペル ウォッチ	1924	13.5	プラチナ、イエロー・ゴールド、黒・緑エナメル、パール、ダイヤモン	ヴァン クリーフ&アーペル
35	ヴァン クリーフ&アーペル	中国の風景のラペル ウォッチ	1924	12.8×2.3×1	プラチナ、イエロー・ゴールド、赤・黒エナメル、パール、ダイヤモン	ヴァン クリーフ&アーペル
36	ヴァン クリーフ&アーペル	中国人奇術師の懐中時計	1927	6.7×5.5	イエロー・ゴールド、オスミウム、エナメル	ヴァン クリーフ&アーペル
37	ジョゼフ・ショーメ	シガレット・ケース	c.1925	6.1×8.7×1.1	金、ネフライト、ダイヤモンド、エナメル	コレクション・ショーメ、パリ
38	ジョゼフ・ショーメ	リップスティック	c.1925	5.2×1.5	金、エナメル	コレクション・ショーメ、パリ
39	ジョゼフ・ショーメ	パウダー・コンパクト	c.1925	5.2×1.2	金、マザーオブパール、ダイヤモンド	コレクション・ショーメ、パリ
40	マルセル・ショーメ	ペルシア風装飾のシガレット・ケース	c.1930	8.5×6.5×1	金、漆、マザーオブパール、ダイヤモンド	コレクション・ショーメ、パリ

第2章　装飾美術のエキゾティシズム

41	里見宗次	東洋への誘い	1936	110×75.5	彩色リトグラフ、紙	×△○ BA-TSU ART GALLERY
42	アンドレ・グルー	椅子	c.1924	88×41×37	黒檀、彩色鼈甲、真鍮、ファブリック(ボーヴェ織物工房)(2脚)	東京都庭園美術館
43	ウジェニー・オキン	花瓶	1925	16×6	象牙彫刻	装飾美術館(パリ)/フランス国立造形芸術センター(CNAP)より寄託
44	セラファン・スビニーヌ	脚付き瓶	c.1935	17×6.7	七宝陶器	装飾美術館(パリ)
45	セラファン・スビニーヌ	脚付き杯	c.1935	12.4×8×8	陶器、一部七宝	装飾美術館(パリ)
46	エミール・ルノーブル	壺	c.1937	20.5×26.5×5.2	ろくろ陶器、白泥、彫刻、釉薬	装飾美術館(パリ)
47	ジョルジュ・セレ	皿	c.1937	8.8×31.5	シャモット陶器、釉薬	装飾美術館(パリ)/モビリエ・ナショナルより寄託
48	ジャン・ベナール	皿	c.1937	8×32.5	陶器、釉薬	装飾美術館(パリ)/モビリエ・ナショナルより寄託
49	国立セーヴル製陶所	蓋付き壺「ラパン No.21」	1925-27	φ50	磁器(二酸化ケイ素生地)	東京都庭園美術館
50	ルネ・ラリック	スカラベ		6.5×9×9	プレス成形、透明ガラス、	東京都庭園美術館
51	ルネ・ラリック	花瓶《フォルモーズ》	1924	17.5×16.5	白ガラス	東京都庭園美術館
52	ルネ・ラリック	皿《金魚》	1921	41	白ガラス	東京都庭園美術館
53	不詳	ライティング・ビュロー	1930s	141×87×35	木材、漆	東京都庭園美術館
54	不詳	テーブル	1930s	69×69×50	木材、漆	東京都庭園美術館
55	菅原精造	女性頭部	1926	76×35.5×18	彫刻した木に漆	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作年	寸法(cm) 縦×横または 高さ×幅×奥行	技法・材質	所蔵先
56	菅原精造	屏風	c.1927–28	170×170.5	木地塗り漆	個人蔵
57	菅原精造	灰皿 / シガレット・ボックス	1910–20	10.5×19.5	ケース:磁器に漆と金箔、魚の皮、パピエマシェ 巻きたばこ用パイプ:	個人蔵
58	菅原精造	茄子形の小箱	c.1920	2.8×6.5	パピエマシェに漆と金箔	個人蔵
59	ジャン・デュナン	栗の木	1922	190×130	木製パネル、色漆	東京国立近代美術館
60	フランソワ＝ルイ・シュミット	リュシアン＝グロー著『モグレブの子羊』	1942	34.5×28.5	冊子	東京都庭園美術館
61	ジャン・デュナン	球形花瓶 (金、赤)	c.1925	18×21	銅合金、色漆	東京国立近代美術館
62	ジャン・デュナン	球形花瓶 (緑、黒)	1925	20×25	銅合金、色漆	東京国立近代美術館
63	ジャン・デュナン	森	20世紀前	300×600×5	漆屏風	モビリエ・ナショナル (パリ)

第3章　パリ国際植民地博覧会と植民地主義の表象

64	ルネ・プルー デザイン /エドモン・タピシエ タペストリー原画	肘掛け椅子	1933	112×73×60	木材、タペストリー(ボーヴェ織物工房)	モビリエ・ナショナル (パリ)
65	ルイ・ブーケ	ブラック・アフリカ	1931	149×148	油彩、キャンバス	30年代美術館 (ブーローニュ＝ビヤンクール)
66	エヴァリスト・ジョンシェール	フランスに貢献する植民地	1931	29.5×37×2.5	ブロンズ	30年代美術館 (ブーローニュ＝ビヤンクール)
67	エヴァリスト・ジョンシェール	植民地に恩恵を与えるフランス	1931	29.5×37.5×2.5	ブロンズ	30年代美術館 (ブーローニュ＝ビヤンクール)
68	ヴィクトル・デムール	1931 年パリ国際植民地博覧会	1931	110.3×75.9	彩色リトグラフ	×△○ BA-TSU ART GALLERY
69		『イリュストラシオン』パリ国際植民地博覧会特集号	1931		書籍(紙、印刷)	東京都庭園美術館
70		フランソワ・ポンポン旧蔵 絵はがき「1931年パリ国際植民地博覧会」	1931			群馬県立館林美術館

特集展示2　ジョセフィン・ベイカーとナンシー・キュナード

71	ポール・コラン	無題	1925	88.5×64.5	油彩、キャンバス	×△○ BA-TSU ART GALLERY
72	ポール・コラン	シャンゼリゼ劇場　バル・ネーグル	1927	145×118	彩色リトグラフ、紙	×△○ BA-TSU ART GALLERY
73	ポール・コラン	『黒い喧騒』	c.1929	50.2×33.5	彩色リトグラフ、紙	30年代美術館 (ブーローニュ＝ビヤンクール)
74	ジョセフィン・ベイカー 文／ピエト・ウォルム画	『虹の部族』	1957	29.3×22	冊子	東京都庭園美術館
75	セシル・ビートン	『セシル・ビートン写真展 今世紀を駆けたダンディズム』図録(G.L.P.Tokyo出版、1955年)				

第4章　異境の再発見

76	アレクサンドル・ヤコヴレフ	首長マンジンガ	1925	75×56	混合技法、サンギーヌ、紙	30年代美術館 (ブーローニュ＝ビヤンクール)
77	アレクサンドル・ヤコヴレフ	『アフリカのデッサンと絵画集』	1927	38×27.5	紙にオフセット印刷、版画	東京都庭園美術館
78	アレクサンドル・ヤコヴレフ	野鳥狩猟者	1933	105×59	サンギーヌ、木炭、紙	30年代美術館 (ブーローニュ＝ビヤンクー

No.	作者名	作品名	制作年	寸法(cm) 縦×横または 高さ×幅×奥行	技法・材質	所蔵先
79	マルセル・アッカン	コナクリのロス諸島	1922	106×131×5.5	油彩、キャンバス	30年代美術館（ブーローニュ＝ビヤンクール）
80	マリウス・ド・ビュゾン	ラバトの墓地	1919	65×92.5	油彩、キャンバス	30年代美術館（ブーローニュ＝ビヤンクール）
81	ポール・ジューヴ	野営するトゥアレグ	c.1938	138.5×270	油彩、キャンバス	30年代美術館（ブーローニュ＝ビヤンクール）
82	エミール＝アドルフ・モニエ	ゴンベレ	c.1930	90×70×30	ブロンズ	30年代美術館（ブーローニュ＝ビヤンクール）/ フランス国立造形芸術センター（CNAP）より寄託
83	アンナ・カンコー	トゥルノ＝モクタールの娘、ネネガレイ	1930	40×17×15	ブロンズ、パティナ	30年代美術館（ブーローニュ＝ビヤンクール）/ フランス国立造形芸術センター（CNAP）より寄託
84	アンナ・カンコー	首長フラー	1930	50×20×24	ブロンズ	30年代美術館（ブーローニュ＝ビヤンクール）/ フランス国立造形芸術センター（CNAP）より寄託

特集展示3　フランソワ・ポンポンと動物彫刻の流行

85	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923–33	24.7×45.5×11.7	大理石	群馬県立館林美術館
86	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910–12	19.8×23.4×10.7	ブロンズ	群馬県立館林美術館
87	フランソワ・ポンポン	雉鳩	1919	24×8.7×9.5	ブロンズ	群馬県立館林美術館
88	フランソワ・ポンポン	フクロウ	1923	17.7×7.9×8.2	ブロンズ	群馬県立館林美術館
89	フランソワ・ポンポン	大黒豹	1930–31	25×81×14	ブロンズ	群馬県立館林美術館
90	フランソワ・ポンポン	カバ	1918–31	21.2×23×8.5	石膏	群馬県立館林美術館
91	フランソワ・ポンポン	ライオン「メネリク」	1932	21×24.7×10	石膏	群馬県立館林美術館
92	エドゥアール＝マルセル・サンド	オウム	c.1929	62.5×19.5×16.8	ブロンズ、パティナ	30年代美術館（ブーローニュ＝ビヤンクール）/ フランス国立造形芸術センター（CNAP）より寄託
93	ジャック・ルチャンスキー	バイソン	1933	47×60×20	花崗岩	30年代美術館（ブーローニュ＝ビヤンクール）/ フランス国立造形芸術センター（CNAP）より寄託
94		フランソワ・ポンポン旧蔵資料 絵はがき 「パリ植物園 付属動物園（博物館）」				群馬県立館林美術館
95		フランソワ・ポンポン旧蔵資料 新聞・雑誌の切り抜き より				群馬県立館林美術館
96		フランソワ・ポンポン旧蔵資料 ポンポン宛のはがき より				群馬県立館林美術館
97		フランソワ・ポンポン旧蔵資料 写真 「パリ国際植民地博覧会内　動物園」				群馬県立館林美術館
98		フランソワ・ポンポン旧蔵資料 「動物園のライオンと子どもたち」				群馬県立館林美術館

◎印刷物・会場作成物

・図録　A5判(21.0×14.8 cm)　204頁
内容:
「芸術をめぐる植民地体系、及びアール・デコへのエキゾティシズムの使用法」
(ドミニク・ジャラセ)
「戦間期フランスとパリ国際植民地博覧会」(平野千果子)
「アール・デコとエグゾティスム- 旧朝香宮邸の次の間はどうして漆塗りなのか？」(関昭郎)
モードのエキゾティシズム
「ポール・ポワレの異境」(能澤彗子)
2　装飾のエキゾティシズム
＜特集展示1＞　ジョセフィン・ベイカーとナンシー・キュナード
3　パリ国際植民地博覧会と植民地主義の表象
4　異境の再発見
＜特集展示2＞　フランソワ・ポンポンと動物彫刻の流行
「両大戦間期の動物彫刻とエキゾティシズム」(松下和美)
＜特集展示3＞　アール・デコ博覧会と旧朝香宮邸
「1920-30 年代のパリのエキゾティシズム」(エルベ・カベザス)
「アール・デコの時代のパリの黒人文化運動」(吉澤英樹)
「大戦間期、フランスの室内装飾におけるエキゾティック×モダン」(田中雅子)
作家解説
作品リスト
参考文献
企画:ドミニク・ジャラセ(ボルドー・モンテーニュ大学現代美術史教授)
平野千果子(武蔵大学人文学部ヨーロッパ文化学科教授)
関昭郎(東京都庭園美術館事業企画係長)
能澤慧子(東京家政大学名誉教授)
松下和美(群馬県立館林美術館学芸員)
エルベ・カベザス(ダンケルク美術館学芸員)
吉澤英樹(南山大学外国語学部フランス学科教授)
田中雅子(東京都庭園美術館学芸員)
東詩優(東京都庭園美術館)
仏文和訳:藤原貞朗、柳沢史明
和文英訳:ベンジャー桂
編集:東京都庭園美術館、群馬県立館林美術館
編集協力:村松綾、田中麻里
デザイン:河野未彩
印刷:凸版印刷株式会社
プリンティング・ディレクション:金子雅一(凸版印刷)
発行:東京都庭園美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)、群馬県立館林美術館

・ポスター　B2
・チラシ　A4
・ジュニアガイド　蛇腹折り、51.2×12.8cm(仕上がりサイズB6)
デザイン:林琢真デザイン事務所
制作:インターパブリカ

・パネル
挨拶1枚、章バナー7枚、解説パネル4枚、会場配布用作品リスト

◎主要関連記事
(長文記事は末尾に＊、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]
・朝日ぐんま
3.8
「「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」 異文化と融合した「アール・デコ」にスポット」〈文化紀行〉＊(学芸員 松下和美)
・とちぎ朝日
1.25
「群馬県立館林美術館 企画展「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」〈展覧会〉
・上毛新聞
12.25
「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」〈美術館・博物館〉
1.23
「濃厚な異国色 館林美術館でアール・デコ展」＊
2.5
「企画展「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」より①ポール・ポワレ《ローブ》」〈アートを愉しむ〉＊
2.6
「企画展「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」より②《素晴らしい人:ウォルトのイブニング・ドレス》」〈アートを愉しむ〉＊
2.7
「企画展「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」より③《エジプト風ブローチとブレスレット》」〈アートを愉しむ〉＊
2.8
「企画展「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」より④ヴィクトル・デムール《1931年パリ国際植民地博覧会》」〈アートを愉しむ〉＊
2.9
「企画展「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」より⑤フランソワ・ポンポン《大黒豹》」〈アートを愉しむ〉＊

・上毛新聞 シャトル
12.20
「「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」異国的な装飾 仏で開花」〈たてびアート散歩〉(学芸員 松下和美)＊
・タウンぐんま
1.4
「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」
・TAKATAI
1.11
「アール・デコが表現した「異境」22日から館林美術館」
・東京新聞
2.23
「フランス×異国 作品で融合 県立館林美術館で企画展」＊
・新潟日報
2.25
「アール・デコと異国文化」〈隣県ねっと〉
・日本経済新聞
10.24
「「エキゾティック×モダン」展 異境への憧れ にじむ芸術」〈文化〉
・読売新聞
1.23
「フランスと異国文化の融合 館林美術館で企画展」＊
2.26
「「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」展―㊤ アジア、中東の衣装 影響」＊(学芸員 松下和美)
2.27
「「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」展―㊥ 東洋趣味 雑誌に反映」＊(学芸員 松下和美)
2.28
「「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」展―㊦ 流麗な形状の動物彫刻」＊(学芸員 松下和美)
・両毛新聞
1.10
「エキゾティック×モダン 群馬県立館林美術館」

〔定期刊行物〕
・月刊アートコレクターズ
2月号
「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」〈今月の展覧会ガイド〉＊
・いけ花 龍生
12月号
「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し 知らざるアール・デコの魅力」〈展覧会情報〉
・芸術新潮
12月号
「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」〈全国主要美術館博物館リスト〉
・そめとおり
早春号
「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」〈3月・4月展覧会〉
・美術屋・百兵衛
2月号増刊
「企画展示「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」
・美連協ニュース
8月号
「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」〈委員会報告詳報、裏表紙〉
11月号
「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」〈展覧会紹介〉
・ぴあMOOK 美術展ぴあ 2018秋冬-2019
「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」〈美術展ガイド 西洋美術〉
・ブレーン
4月号
「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」〈セレクト10デザイン・アート・広告賞 今月の展覧会&コンペティション〉
・raifu
1月号
「"エキゾティック"なアール・デコ作品を展示」〈群馬県内のイベント〉
・Seol Art Guide
3月号、vol.207
「エキゾティック×モダン」〈What's up in Japan〉

◎放送

〔テレビ〕
・NHK総合(前橋)
2.28
「アール・デコと異境への眼差し」〈ほっとぐんま640〉
・NHK総合
3.5
「エキゾティック×モダン」〈NHKニュース おはよう日本 関東甲信越〉
・群馬テレビ
3.21
「海外文化と融合した仏作家の作品展」(エキゾティック×モダン)
〈ニュースジャスト6〉〈ニュースeye8〉

3.7

「企画展示「エキゾティック×モダン　アール・デコと異境への眼差し」作品解説会のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

・FM太郎

1.22

「企画展示「エキゾティック×モダン　アール・デコと異境への眼差し」開催のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

◎関連事業

・記念講演会

3.3

「アール・デコとエキゾティシズム」

講師：関 昭郎（東京都庭園美術館事業企画係長）

・たてび土曜レクチャー

「フランソワ・ポンポンの故郷を訪ねて」

2.16

「2018年フランス調査より～パリ」

2.23

「2018年フランス調査より～ブルゴーニュ、ノルマンディー」

講師：松下和美(当館学芸員)

・学芸員による作品解説会

1.17、3.13

・たてび☆キッズウォーク

1.26、2.23、3.23

展示室2

展示室3

展示室4

展示室4

C コレクション展示記録

第1期　7月14日（土）～8月26日（日）
展示室1
「近現代の彫刻Ⅰ　近現代の彫刻、どこから見るか？」
展示室4
「木版画展関連 コレクションコーナー 藤牧義夫」

第2期　9月15日（土）～12月24日（月・振休）
展示室1
「近現代の彫刻Ⅱ－トランスフォーム」

第3期　1月22日（火）～3月31日（日）
展示室1
「近現代の彫刻」

◎印刷物・会場作成物

「近現代の彫刻Ⅰ　近現代の彫刻、どこから見るか？」
・パネル1枚
・会場配布用作品リスト
「木版画展関連 コレクションコーナー 藤牧義夫」
・パネル1枚
・会場配布用作品リスト
「近現代の彫刻Ⅱ－トランスフォーム」
・パネル1枚
・会場配布用作品リスト
「近現代の彫刻」
・パネル1枚
・会場配布用作品リスト

近現代の彫刻Ⅰ　近現代の彫刻、どこから見るか？
平成30年7月14日(土)～ 8月26日(日)　展示室 1

№.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	コゼット	1888	ブロンズ	41.0 × 18.0 × 13.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン	ラクダ	1906 - 1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン	牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 - 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910 - 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンポン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンポン	ヒグマ	1918 - 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
8	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
9	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
10	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ	11.4 × 7.4 × 5.7	群馬県立館林美術館
11	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981	ブロンズ	23.7 × 5.9 × 7.6	群馬県立館林美術館
12	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
13	ブルーノ・ロメダ	純粋な大円	2003	ブロンズ	188.0 × 191.2 × 20.0	群馬県立館林美術館
14	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951	スチール・ロッド	79.0 × 110.5 × 158.5	群馬県立館林美術館
15	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
16	イサム・ノグチ	リス	1984 - 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
17	森亮太	風の扉	1987	黒御影石	101.0 × 34.5 × 31.0	群馬県立館林美術館
18	森亮太	波	1990	黒御影石	33.0 × 51.0 × 8.0	群馬県立館林美術館
19	森亮太	座標	1988	黒御影石	27.5 × 27.0 × 14.0	群馬県立館林美術館

小学生木版画展関連　コレクションコーナー　藤牧義夫
平成30年7月14日(土)～8月26日(日)　展示室4

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	藤牧義夫	太陽と自画像	1929(昭和4)	木版、手彩色・紙	17.8 × 12.6	群馬県立館林美術館
2		城沼の冬	1933(昭和8)	木版(多色)・紙	11.2 × 14.0	群馬県立館林美術館
3		銀座スッポン料理屋案内はがき	1933(昭和8)	木版(多色)・紙	17.8 × 12.6	群馬県立館林美術館

近現代の彫刻Ⅱ ー トランスフォーム
平成30年9月15日(土)～12月24日(月・振休)　展示室 1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行) cm	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	ラクダ	1906 - 1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン	ヒグマ	1918 - 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン	牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1921 - 1924	無釉硬質磁器	20.4 × 39.4 × 7.3	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 - 1933	合金	24.0 × 44.0 × 12.4	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 - 1933	ブロンズ	12.0 × 23.5 × 5.0	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンポン	パン	1923年頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
8	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
9	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ	11.4 × 7.4 × 5.7	群馬県立館林美術館
10	ヘンリー・ムーア	羊	1960	ブロンズ	19.8 × 24.0 × 11.3	群馬県立館林美術館
11	ヘンリー・ムーア	後ろ足で立つ馬	1972	ブロンズ	20.0 × 9.0 × 7.0	群馬県立館林美術館
12	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981	ブロンズ	23.7 × 5.9 × 7.6	群馬県立館林美術館
13	ヘンリー・ムーア	馬の頭部	1982	ブロンズ	13.6 × 12.0 × 6.5	群馬県立館林美術館
14	ヘンリー・ムーア	小さな人体	1983	ブロンズ	14.2 × 6.0 × 5.4	群馬県立館林美術館
15	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948	ブロンズ	23.8 × 38.6 × 19.2	群馬県立館林美術館
16	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
17	イサム・ノグチ	リス	1984 - 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
18	土谷武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
19	佐藤忠良	男の顔	1965	ブロンズ	32.5 × 20.0 × 23.0	群馬県立館林美術館
20	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951	スチール・ロッド	158.5 × 110.5 × 79.0	群馬県立館林美術館
21	アーブラハム＝ダーフィット・クリスティアン	清らかな人 XI	1982	ブロンズ	166.2 × 57.8 × 28.0	群馬県立館林美術館
22	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
23	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館

近現代の彫刻Ⅲ

平成31年1月22日(火)～3月31日(日)　展示室 1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行) cm	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	風見鶏	1908 － 1932	銅板	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン	ヒグマ	1918 － 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 － 1933	合金	24.0 × 44.0 × 12.4	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 － 1933	ブロンズ	12.0 × 23.5 × 5.0	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンポン	コンドル	1923	石膏	25.5 × 18.0 × 9.3	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンポン	パン	1923年頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンポン	オラン・ウータン(頭部)	1930	石膏	34.3 × 23.0 × 20.0	群馬県立館林美術館
8	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
9	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948	ブロンズ	23.8 × 38.6 × 19.2	群馬県立館林美術館
10	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
11	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
12	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
13	イサム・ノグチ	リス	1984 － 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
14	森亮太	石の鼓動	1980	黒大理石	8.0 × 19.5 × 14.0	群馬県立館林美術館
15	森亮太	二つの突起	1982	黒御影石	27.0 × 55.0 × 17.0	群馬県立館林美術館
16	森亮太	波	1990	黒御影石	33.0 × 51.0 × 8.0	群馬県立館林美術館
17	和南城孝志	Archetypus空間への旅Ⅰ	1979	ブロンズ	12.0 × 35.0 × 35.0	群馬県立館林美術館
18	和南城孝志	Archetypus空間への旅Ⅱ	1983	ブロンズ	10.0 × 30.0 × 30.0	群馬県立館林美術館
19	土谷武	蝶Ⅰ	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
20	伊藤博敏	ZIP STONE Metal Age	2013	自然石・ファスナー・ステンレス球	12.0 × 13.0 × 7.5	I氏コレクション寄託

D　彫刻家のアトリエ（別館）展示記録

彫刻家のアトリエの展示ケース内にて資料（一部複製）を展示。展示ごとに配布用解説を作成した。

第1期
「フランソワ・ポンポン関連資料より―ポンポンの道具」
4月28日（土）～ 6月24日（日）
展示資料：道具21点、写真（複製）4点
ポンポンが自身のアトリエで使っていた道具の実物を展示した。採寸の道具（定規、尺など）、粘土成形の道具（かんな類）、石膏像を仕上げるためのやすり類、石彫りのためのハンマーやのみ、たがね、そのほかに、鉄の太釘や釘ぬき等、用途による分類から紹介した。また、道具を用いたポンポンの制作の様子が見られる写真、技法の観点から作品を紹介した。

第2期
「フランソワ・ポンポン関連資料より―ポンポンのスクラップ・コレクション―様々なイラスト」
7月15日（土）～ 9月3日（日）
展示資料：雑誌切り抜き図版（複製）22点、参考作品写真（1点）
当館では、ポンポンが集めていた新聞や雑誌のスクラップ（切り抜き）約90点を収蔵している。これらは制作のヒントをうかがわせ重要である。今回は「イラスト」に着目し、イラストレーターや出典元を推測、同定するとともに、ポンポンがスクラップした意図を考察した。

第3期
「フランソワ・ポンポン関連資料より―ポンポンと第一次世界大戦」
9月15日（土）～12月24日（月・振休）
展示資料：フランス調査写真5点、参考作品写真（複製）4点、絵はがき（複製）　5点
第一次世界大戦開始時、59歳のポンポンは招集されなかったが、作品制作の仕事はなく、生活費を得るため鋳造権の購入を鋳造所に持ちかけるなど苦労した。大戦後は、キュイ＝サン＝フィアクルの町の依頼で、戦没者記念碑を制作。この作品について、2018年にフランスで行った調査の写真を紹介した。またポンポン旧蔵の他の戦没者記念碑の絵はがきも展示した。

第4期
「フランソワ・ポンポン関連資料より―ポンポンの彫刻写真」
1月22日（火）～3月31 日（日）
展示資料：写真（複製）12点、フランス調査写真4点
当館のポンポン資料にあるポンポンの作品写真は、今日所在不明の作品について教えてくれたり、制作中の様子について情報を伝えてくれたりするため、大変貴重である。《カバ》や《ゾウ》など晩年の作品の写真、裏にメモ書きのある《風見鶏》、様々な種類の作品が作られた《牛》の写真などを通して、ポンポンの作品の特徴を紹介、またフランス調査の写真から現在の状態もあわせて示した。

E 入館者数一覧表

企画展示

	有料観覧者							無料観覧者					観覧者合計	入館者合計
	個人			団体			有料合計	小中生	学校団体	身体障害者等	その他	無料合計		
	一般	大高生	小計	一般	大高生	小計								
粋な古伊万里 4/1-4/8　7日	620	17	637	28	0	28	665	64	0	39	810	913	1,578	1,747
アート遊覧紀行 4/28-6/24　51日	3,200	130	3,330	96	52	148	3,478	268	36	207	2,754	3,265	6,743	8,364
デンマーク・デザイン 7/14－8/26　39日	5,247	269	5,516	2	81	83	5,599	1,583	106	222	6,328	8,239	13,838	15,470
時代に生き、時代を超える 9/15－12/24　87日	2,348	91	2,439	194	58	252	2,691	129	918	201	5,518	6,766	9,457	13,334
エキゾティック×モダン 1/22-3/31　60日	4,170	162	4,332	72	42	114	4,446	169	182	296	4,578	5,225	9,671	12,383
企画展示 計 244日	15,585	669	16,254	392	233	625	16,879	2,213	1,242	965	19,988	24,408	41,287	51,298

入館者数は、観覧者数に施設利用者数、教育普及事業参加者数を加えた総数。
平成30年度の総入館者数は、51，298人である。

教育普及

A 講演会・トークイベント

展覧会に関連した講演会、美術講座を開催した。

1. 講演会

開催日	名称	講師	会場	参加者数
9.15	オープニング・トーク「板橋区立美術館コレクションに見る日本の近代前衛絵画の流れ」	弘中智子(板橋区立美術館学芸員)	講堂	27
11.24	記念講演会「「ドロでだって絵は描ける」の背景―戦時下の美術統制のこと」	迫内祐司(小杉放菴記念日光美術館学芸員)	講堂	21
3.3	記念講演会「アール・デコとエキゾティシズム」	関昭郎(東京都庭園美術館事業企画係長)	講堂	64

2. トークイベント

開催日	名称	講師	会場	参加者数
7.29	トークイベント「デンマークの豊かな暮らし」	芳子ビューエル(北欧流ワークライフデザイナー)	別館ワークショップ室	28

オープニング・トーク「板橋区立美術館コレクションに見る日本の近代前衛絵画の流れ」

記念講演会「「ドロでだって絵は描ける」の背景―戦時下の美術統制のこと」

記念講演会「アール・デコとエキゾティシズム」

トークイベント「デンマークの豊かな暮らし」

B 作品解説会・ギャラリートーク・キッズウォーク・ポンポンツアー

1. 学芸員による作品解説会

各展覧会において、学芸員が作品解説を行った。

開催日	展示の名称	解説者	会場	参加者数
5.12	アート遊覧紀行－自然と人間をめぐって－	熊谷ゆう子	展示室	10
5.30	アート遊覧紀行－自然と人間をめぐって－	熊谷ゆう子	展示室	6
6.9	アート遊覧紀行－自然と人間をめぐって－	熊谷ゆう子	展示室	25
7.18	デンマーク・デザイン	野澤広紀	展示室	13
8.4	デンマーク・デザイン	野澤広紀	展示室	21
8.17	デンマーク・デザイン	野澤広紀	展示室	34
9.23	時代に生き、時代を超える　板橋区立美術館コレクションの日本近代洋画1920s−1950s	佐原しおり	展示室	14
10.25	時代に生き、時代を超える　板橋区立美術館コレクションの日本近代洋画1920s−1950s	佐原しおり	展示室	7
12.8	時代に生き、時代を超える　板橋区立美術館コレクションの日本近代洋画1920s−1950s	佐原しおり	展示室	13
1.27	エキゾティック×モダン　アール・デコと異境への眼差し	松下和美	展示室	40
3.13	エキゾティック×モダン　アール・デコと異境への眼差し	松下和美	展示室	44

学芸員による作品解説会

学芸員による作品解説会

2. たてび☆キッズウォーク

参加者は、ワークシートを持って展示室を自由に探検しながら作品を鑑賞した。

開催日	担当者	会場	参加者数
5.5	伊羅子典代	展示室	19
6.16	伊羅子典代	展示室	4
7.28	伊羅子典代・羽鳥あゆみ	展示室	30
8.4	齋藤久美子・竹渕典子	展示室	32
9.29	齊藤由紀子・齋藤久美子・竹渕典子	展示室	2
10.20	齊藤由紀子・齋藤久美子	展示室	1
11.17	齊藤由紀子・竹渕典子	展示室	2
12.15	齋藤久美子・竹渕典子	展示室	2
1.26	齊藤由紀子・齋藤久美子・竹渕典子	展示室	9
2.23	齋藤久美子・竹渕典子	展示室	4
3.23	齋藤久美子・竹渕典子	展示室	3

3. ポンポン・ツアー

当館人気のフランソワ・ポンポンの彫刻や公開資料を、学芸員の詳しい解説付きでご覧頂くスペシャル・ツアーを行った。

開催日	解説者	会場	参加者数
6.3	松下和美	彫刻家のアトリエ	34
8.5	松下和美	彫刻家のアトリエ	67
11.4	松下和美	彫刻家のアトリエ	21
2.10	松下和美	彫刻家のアトリエ	50

たてび☆キッズウォーク

ポンポン・ツアー

C ワークショップ

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5.26	自然の感覚を絵にしよう	金田実生(画家・出品作家)	ワークショップ室	15
10.14	戦時下における作品制作術	ユアサエボシ(美術家)	ワークショップ室	13

1. 自然の感覚を絵にしよう

春の企画展示「アート遊覧紀行−自然と人間をめぐって」の関連事業として、出品作家であり、様々な感覚を繊細な色彩で絵画に表現する画家・金田実生氏を迎え、感じ取った自然を様々な画材を使って絵に描き表すワークショップを開催した。初めに部屋の照明を落としてブラインド・ドローイングを行って心をほぐした後に、別館の周辺を散策し自然とふれあいながら、観察、収集、スケッチしたものをもとにそれぞれの方法で画面に表現していった。参加者は金田氏のアドバイスを受けながら、自分の感じ取った自然を思いのままに表現していた。

2. 戦時下における作品制作術

秋の企画展示「時代に生き、時代を超える」の関連事業として、戦前に生まれた架空の画家として制作を行う美術家のユアサエボシ氏を講師に迎え、戦時下の子どもたちが愛読した雑誌『少年倶楽部』の挿絵を使ってコラージュをつくるワークショップを開催した。ユアサ氏の制作方法にならい、参加者は自分で選んだ挿絵を切り抜き、構成を考えながら黙々と台紙に貼っていった。それぞれが画面の中で思い思いのストーリーを描きながら想像の世界を作り上げていた。

自然の感覚を絵にしよう

戦時下における作品制作術

D 創作体験コーナー　みんなのアトリエ「多色摺り木版画の摺り体験」

みんなのアトリエは夏季企画展会期中の事業で、参加者に簡単な多色摺り木版画の摺り体験を提供している。平成21年度より、同会期中に「館林邑楽地区小学生木版画展」を開催していることから、テーマの関連を図り、この事業が始まった。今回は講師に、木版画家の石橋佑一郎氏を招き、同氏が製作した版により、摺り方の基本や多色摺りの美しさや面白さを教えていただいた。全4回開催し、166人が参加した。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
7.19	多色摺り木版画の摺り体験	石橋佑一郎（木版画家）	ワークショップ室	13
7.26				46
8.9				69
8.16				38

みんなのアトリエ「多色摺り木版画摺り体験」

みんなのアトリエ「多色摺り木版画の摺り体験」

E たてび☆びじゅつ部

「たてび☆びじゅつ部」は誰でも気軽に参加できる無料の造形体験コーナーである。展覧会に関連した造形体験を企画開催した。

1. たてび☆びじゅつ部

開催日	名称	会場	参加者数
5.20	「プラ板でポンポンの動物ストラップをつくろう」	ワークショップ室	48
6.10	「プラ板でポンポンの動物ストラップをつくろう」	ワークショップ室	59
11.10	「ちょこっと画家体験」	ワークショップ室	38
12.2	「ちょこっと画家体験」	ワークショップ室	29
2.2	「展覧会ポスターでエコバックをつくろう」	講堂	47

たてび☆びじゅつ部「プラ板でポンポンの動物ストラップをつくろう」

たてび☆びじゅつ部「ちょこっと画家体験」

たてび☆びじゅつ部「展覧会ポスターでエコバッグをつくろう」

2. 展覧会ポスタープレゼント

当館が保管していた過去の展覧会ポスターを来館者に無料で配布した。たてび☆びじゅつ部「展覧会ポスターでエコバッグをつくろう」と同時開催で行い、自分が選んだポスターをワークショップ会場へ持ち込めば、創作体験ができる。参加者は多彩なポスターに見入りながら、気に入ったポスターを持ち帰った。

開催日	名称	会場	参加者数
2.2	展覧会ポスタープレゼント	講堂前通路	120

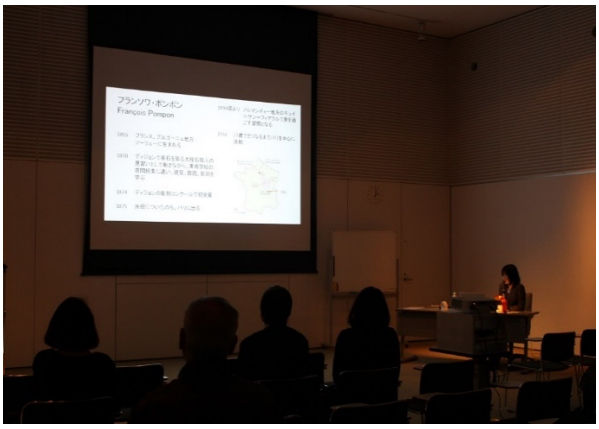
F たてび土曜レクチャー

当館学芸員やゲスト迎え、美術にまつわるテーマで4週にわたり、レクチャーを行った。

1. たてび土曜レクチャー「フランソワ・ポンポンの故郷を訪ねて」

開催日	名称	講師	会場	参加者数
2.16	「2018年フランス調査より～パリ」	松下和美(当館学芸員)	講堂	19
2.23	「2018年フランス調査より～ブルゴーニュ、ノルマンディー」	松下和美(当館学芸員)	講堂	15

たてび土曜レクチャー「2018年フランス調査より～パリ)」



たてび土曜レクチャー「2018年フランス調査より～ブルゴーニュ、ノルマンディー」

G その他イベント

1. アートカードで遊ぼう

企画展示「アート遊覧紀行」の関連事業として、当館の収蔵作品の画像をカードにした「アートカード」を使って、ゲームをしながら作品に親しみ、鑑賞の基本を体験するイベントを開催した。短時間で大人も子どもも気軽に楽しめる4つのアートカードゲームのコーナーがあり、参加者は随時、やりたいゲームを選んで参加した。アートカードゲームは、展示室へ行く前の鑑賞のウォーミングアップとしても有効であり、子どもたちは、同時開催の「たてび☆キッズウォーク」と合わせて参加し、より作品への興味を深めていた。

開催日	名称	会場	参加者数
11.12	アートカードで遊ぼう	講堂	40
6.16	アートカードで遊ぼう	講堂	54

アートカードで遊ぼう

2. おしゃべり鑑賞会

企画展示「時代に生き、時代を超える」の関連事業として、対話型鑑賞(Visual Thinking Strategie)の理論を学び、各地で対話型鑑賞を実践する県内有志の集まり「対話型アート鑑賞ラボ」のメンバーがファシリテーター(進行役)となり、日本近代洋画への理解を深めるための鑑賞会を行った。アイスブレイクとして研修室でアートカードを使った自己紹介を行った後、展示室に移動し、グループ毎に鑑賞を行った。参加者は、他人と交流しながら鑑賞することで、新たな作品の見方ができたと喜んでいた。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
12.9	おしゃべり鑑賞会	対話型アート鑑賞ラボ	研修室・展示室	19

おしゃべり鑑賞会

H 他団体への協力

1. 館林教育委員会・県立館林美術館共催講座

館林市教育委員会との共催により、当館を会場に黒川弘毅氏を講師に迎え、彫刻講座を開催した。

開催日	名称	講師	会場	一般参加者数
2.23	彫刻講座「彫刻の楽しみかた－野外彫刻を清掃体験してみましょう！」	黒川弘毅〈武蔵野美術大学彫刻学科教授、有限会社ブロンズスタジオ取締役〉	講堂	18

2. 花と緑の館林づくり協議会・県立館林美術館連携事業

花と緑の館林づくり協議会が主催する「あんだんて美術館」と群馬県立館林美術館の連携事業として、県内在住の画家、津久井ひとみ氏を講師に招き、「あんだんて美術館」に展示する作品を参加者が共同制作した。

開催日	名称	講師	会場	一般参加者数
3.16	あんだんて美術館×群馬県立館林美術館 「みんなで花と緑のまちを描こう！」	津久井ひとみ〈画家〉	ワークショップ室	18

彫刻講座「彫刻の楽しみかた－野外彫刻を清掃体験してみましょう！」

あんだんて美術館×群馬県立館林美術館「みんなで花と緑のまちを描こう！」

Ⅰ 学校連携その他

当館では、学校との連携に力を入れており、当館独自の鑑賞プログラム「たてび☆スクールプログラム」を作成し、見学の受け入れや訪問鑑賞授業を積極的に行っている。また、美術館の活用法を紹介する教職員向けのセミナーを開催したり、近隣の芸術科を有する西邑楽高校や県立女子大学との連携したイベントを開催している。一般団体においては、解説を希望する団体に、観覧前の概要説明や学芸員による展示室解説を行っている。

1. 学校との連携事業

(1)連携授業等

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
5.2	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校1年生	松下(和)・齋藤(由)	講堂・展示室・別館	40
5.9	職場体験打合せ・見学	白鷗大学足利中学校2年生	齊藤(由)	会議室・学芸室・展示室	1
5.24	訪問鑑賞授業	前橋市立富士見中学校1年生	齊藤(由)・羽鳥	前橋市立富士見中学校	100
5.29	訪問鑑賞授業	前橋市立富士見中学校1年生	齊藤(由)・竹渕	前橋市立富士見中学校	100
6.12	職場体験	白鷗大学足利中学校2年生	齊藤(由)	会議室・学芸室・展示室	1
6.13	職場体験	白鷗大学足利中学校2年生	齊藤(由)	会議室・学芸室・展示室	1
6.14	職場体験	白鷗大学足利中学校2年生	齊藤(由)	会議室・学芸室・展示室	1
7.18	美術館見学	栃木県立足利工業高等学校1年生	野澤・齊藤(由)・竹渕	研修室・展示室・別館	42
7.24	絵画教室・美術館見学	渡瀬公民館家庭教育学級(館林市立第九小学校)	齊藤(由)	ワークショップ室・展示室・別館	21
7.26	美術館見学	足利市立坂西中学校美術部	齊藤(由)	研修室・展示室・別館	19
8.1	美術館見学・宿題相談室	群馬県立西邑楽高等学校2年生	齊藤(由)	ワークショップ室・展示室・別館	13
8.2	美術館見学・宿題相談室	群馬県立西邑楽高等学校2年生	齊藤(由)	ワークショップ室・展示室・別館	10
8.3	美術館見学	群馬県立板倉高等学校美術部	伊羅子	研修室・展示室・別館	10
8.5	美術館見学	伊勢崎市立第四中学校美術部	齊藤(由)	研修室・展示室・別館	25
8.21	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校美術部	齊藤(由)・羽鳥	ワークショップ室・展示室・別館	12
8.21	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校吹奏楽部	齊藤(由)	研修室・展示室・別館	31
9.20	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校1年生	齊藤(由)・羽鳥	桐生市立東小学校	34
9.20	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校2年生	齊藤(由)・羽鳥	桐生市立東小学校	31
9.20	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校6年生	齊藤(由)・羽鳥	桐生市立東小学校	40
9.20	美術館施設見学・鑑賞	館林市立第八小学校4年生	伊羅子・齋藤(久)	エントランスホール・展示室・別館	82
9.21	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校3年生	齊藤(由)・羽鳥	桐生市立東小学校	33
9.21	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校5年生	齊藤(由)・羽鳥	桐生市立東小学校	50
10.4	職場体験	館林市立多々良中学校2年生	齊藤(由)	会議室・学芸室・展示室	1
10.5	職場体験	館林市立多々良中学校2年生	齊藤(由)	会議室・学芸室・展示室	1
10.5	美術館見学	館林市立第八小学校2年生	齊藤(由)	講堂・展示室・別館	97
10.11	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校1年生	齋藤(久)	研修室・展示室・別館	33
10.11	職場体験	館林市立第四中学校2年生	齊藤(由)	会議室・学芸室・展示室	1
10.12	職場体験	館林市立第四中学校2年生	齊藤(由)	会議室・学芸室・展示室	1
10.17	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校3年生	齋藤(久)	研修室・展示室・別館	35
10.19	美術館見学	高崎市立京ヶ島小学校5年生	齊藤(由)・伊羅子・羽鳥	講堂・展示室・別館	73
10.24	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校5年生	齊藤(由)・羽鳥	館林市立第一小学校	96
10.31	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校3年生	佐原・齊藤(由)	講堂・展示室・別館	33
11.1	美術館見学	前橋市立山王小学校5年生	齊藤(由)・伊羅子・竹渕	講堂・展示室・別館	95
11.1	美術館見学	館林市立第八小学校6年生	齊藤(由)・伊羅子・竹渕	講堂・展示室・別館	102
11.6	美術館見学	伊勢崎市立殖蓮小学校5年生	齊藤(由)・竹渕・羽鳥	講堂・展示室・別館	101
11.7	訪問鑑賞授業	館林市立第三中学校3年生	齊藤(由)	館林市立第三中学校	127
11.8	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校2年生	齊藤(由)・竹渕	館林市立第一小学校	55
11.9	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校2年生	齊藤(由)・羽鳥	館林市立第一小学校	54
11.14	美術館見学	館林市立多々良中学校1年生	齊藤(由)・竹渕	講堂・展示室・別館	121
11.15	美術館見学	太田市立鳥之郷小学校6年生	齊藤(由)・伊羅子・竹渕	講堂・展示室・別館	94
11.16	美術館見学	高崎市立豊岡小学校5年生	齊藤(由)・伊羅子・羽鳥	講堂・展示室・別館	97
11.21	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校2年生	佐原・齊藤(由)	講堂・展示室・別館	34
11.30	訪問鑑賞授業	板倉町立西小学校6年生	齊藤(由)・羽鳥	板倉町立西小学校	43
12.4	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校3年生	齊藤(由)・羽鳥	館林市立第一小学校	86

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
12.5	訪問鑑賞授業	大泉町立西小学校5年生	齊藤(由)・羽鳥	大泉町立西小学校	117
12.12	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校1年生	齊藤(由)・竹渕	館林市立第二小学校	28
12.14	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校1年生	齊藤(由)・羽鳥	館林市立第二小学校	29
12.18	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校特別支援学級	齊藤(由)・竹渕	館林市立第一小学校	14
1.8	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校2年生	齊藤(由)・竹渕	館林市立第二小学校	51
1.9	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校6年生	齊藤(由)・竹渕	館林市立第二小学校	65
1.10	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校6年生	齊藤(由)・竹渕	館林市立第一小学校	87
1.16	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校4年生	齊藤(由)・羽鳥	桐生市立東小学校	33
1.17	訪問鑑賞授業	太田市立沢野中央小学校4年生	齊藤(由)・羽鳥	太田市立沢野中央小学校	77
1.18	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校4年生	齊藤(由)・羽鳥	館林市立第一小学校	105
1.22	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校2年生	齊藤(由)・竹渕	館林市立第二小学校	51
1.23	職場体験	足利市立愛宕台中学校2年生	齊藤(由)	会議室・学芸室・展示室	2
1.24	職場体験	足利市立愛宕台中学校2年生	齊藤(由)	会議室・学芸室・展示室	2
1.25	職場体験	足利市立愛宕台中学校2年生	齊藤(由)	会議室・学芸室・展示室	2
1.30	訪問鑑賞授業	館林市立第四小学校4年生	齊藤(由)	館林市立第四小学校	11
1.31	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校4年生	齊藤(由)・竹渕	館林市立第二小学校	52
2.5	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校3年生	齊藤(由)・竹渕	館林市立第二小学校	52
2.6	美術館見学	文星芸術大学附属中学校	齊藤(由)・竹渕・羽鳥	講堂・展示室・別館	37
2.7	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校5年生	齊藤(由)・羽鳥	館林市立第二小学校	58
2.19	訪問鑑賞授業	館林市立多々良中学校3年生	齊藤(由)	館林市立多々良中学校	145
2.28	美術館見学	足利デザインビューティー専門学校	松下・齊藤(由)	講堂・展示室・別館	44
3.7	美術館見学	館林市立多々良中学校3年生	齊藤(由)	講堂・展示室・別館	98
3.8	美術館見学	大泉町教育研究所　適応指導教室	齊藤(由)	講堂・展示室・別館	11
3.14	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校1年生	齊藤(由)・羽鳥	館林市立第一小学校	58
3.15	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校1年生	齊藤(由)・羽鳥	館林市立第一小学校	29

(2)主任会、研修会の実施、参加

開催日	名称	学校名、組織名	担当	会場	参加者数
4.11	館林市中学校美術部会	館林市中学校美術部会	齊藤(由)	館林市立第一中学校	7
4.16	館林市小学校図工部会	館林市小学校図工部会	齊藤(由)	館林市立第八小学校	13
5.11	館林市小学校図工部会	館林市小学校図工部会	齊藤(由)	研修室・展示室	13
6.5	館林市中学校美術部会	館林市中学校美術部会	齊藤(由)	館林市立第二中学校	7
6.15	邑楽郡小学校図工主任会	邑楽郡小学校図工主任会	齊藤(由)	研修室・展示室	18
7.25	伊勢崎市立殖蓮小学校下見・打合せ	伊勢崎市立殖蓮小学校	齊藤(由)	エントランスホール・展示室	4
7.31	邑楽郡小学校図工実技講習会	邑楽郡小学校図工部会	齊藤(由)	ワークショップ室・展示室	26
7.31	高崎市立豊岡小学校下見・打合せ	高崎市立豊岡小学校	齊藤(由)	研修室・展示室	3
8.3	高崎市立京ヶ島小学校見学下見・打合せ	高崎市立京ヶ島小学校	齊藤(由)	研修室・展示室	2
8.7	太田市図工美術部会研修会	太田市図工美術部会	齊藤(由)	研修室・展示室	17
8.21	前橋市立山王小学校下見・打合せ	前橋市立山王小学校	齊藤(由)	エントランスホール・展示室	4
10.28	館林市立第八小学校下見・打合せ	館林市立第八小学校	齊藤(由)	エントランスホール・展示室	1
11.4	館林市立第十小学校下見・打合せ	館林市立第十小学校	齊藤(由)	エントランスホール・展示室	1
11.5	邑楽町立高島小学校校内研修会	邑楽町立高島小学校	齊藤(由)	邑楽町立高島小学校	20
11.20	邑楽郡小学校図工主任会	邑楽郡小学校図工主任会	齊藤(由)	研修室・展示室	18
1.11	館林市小学校図工部会	館林市小学校図工部会	齊藤(由)	館林市立第一小学校	13
1.18	館林市中学校美術部会	館林市中学校美術部会	齊藤(由)	館林市立多々良中学校	7

(3)「先生のための美術館サマーセミナー」の開催

開催日	名称	担当	会場	参加者数
8.22	先生のための美術館サマーセミナー	齊藤(由)、佐原	研修室、展示室	11

学校の夏季休業期間中に、教職員を対象とした「先生のための美術館サマーセミナー」を開催した。本事業は、教職員が美術館をもっと身近なものとしてとらえ、学校の授業や行事の中に気軽に取り入れ、活用していけるように企画したものである。「たてび☆スクールプログラム」について、利用例をスライドで紹介したり、ワークシートを使った鑑賞やアートカードゲームなどを実際に体験していただいたりした。展示作品については、学芸員が解説を行った。参加者は、美術館活動に関心を寄せ、学校の授業に積極的に取り入れる考えを示していた。

学校訪問鑑賞授業

美術館見学

先生のための美術館サマーセミナー

2. 群馬県立西邑楽高等学校との連携事業

(1)高校生による夏休み宿題相談室

県立西邑楽高等学校の芸術科美術コースの生徒が、小中学生に絵やポスターなど夏休みの課題についてアドバイスをするワークショップを２日間に分けて開催した。参加者は、高校生からのアドバイスをもとに、熱心に制作に励んでいた。また、高校生たちは、小中学生との交流を通して、教えることの難しさを感じながらもふれあいを楽しみながら活動していた。

開催日	名称	会場	参加者数
8.1	高校生による夏休み宿題相談室	ワークショップ室	31
8.2	高校生による夏休み宿題相談室	ワークショップ室	27

(2)高校生による美術館ミニコンサート

県立西邑楽高等学校の吹奏楽部がミニコンサートを開催した。総勢30名の生徒たちが、来館者に馴染みのある曲を中心に30分間の演奏を２回行った。

開催日	名称	会場	参加者数
8.21	高校生による美術館ミニコンサート	エントランスホール	141

(3)特別講義　金巻芳俊 「アンビバレンス・コンセプト」

群馬県立西邑楽高等学校では、芸術科美術コースの生徒を対象に、授業の一環として、国内外で活躍している現代作家による特別講義を毎年開催している。今年度は、美術家の金巻芳俊氏を講師に迎え、当館の講堂を会場に講義を行った。本事業では、生徒たちとともに、一般の聴講者も募集している。

開催日	名称	会場	参加者数
1.29	特別講義　金巻芳俊 「アンビバレンス・コンセプト」	講堂	67

高校生による夏休み宿題相談室

高校生による美術館ミニコンサート

特別講義　金巻芳俊 「アンビバレンス・コンセプト」

3. 群馬県立女子大学との連携事業

県立女子大学奥西ゼミと連携して、夏休み期間中の子どもたちを主な対象としたワークショップを開催した。今年度で5回目となる今回は、企画展示「デンマーク・デザイン」に関連し、北欧の生活には欠かせない照明をテーマにしたミニライトを制作した。材料は身近な紙コップを使い、学生たちの丁寧な指導のもと、ハサミで切り込みを入れたり、画鋲で穴を開けたりして自分だけのミニライトをデザインした。

開催日	名称	会場	参加者数
8.18	おしゃれな‘ほっこりライト’を作ろう！	別館ワークショップ室	112

群馬県立女子大学 奥西ゼミ ワークショップ「おしゃれな‘ほっこりライト’を作ろう！」

4. 団体観覧者への解説

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	1	2	1	1	0	0	1	5	1	0	0	1	13
人数	29	70	28	27	0	0	14	149	11	0	0	21	349

J 地域に開かれた美術館づくり

館林美術館の施設と機能を活かして、地区小学生の健全育成、芸術創作活動の振興、美術鑑賞力の向上を図るとともに、地域に開かれた美術館づくりを推進するために、館林が生んだ木版画家である藤牧義夫にちなみ、館林市及び邑楽郡5町の各市町及び各市町教育委員会の協力を得て、「第10回　日本を代表する木版画家「藤牧義夫」記念館林邑楽地区小学生木版画展」を開催した。会場は講堂を使用し、参加小学校全27校を一週間6会期に分けて展示した。31日間の全会期中に、合計3,018人が観覧した。

会期	開催期間	参加校	入室者数
第1期	7.14-7.19	大泉町立西小学校、大泉町立東小学校、千代田町立西小学校、千代田町立東小学校	390
第2期	7.21-7.26	邑楽町立中野小学校、邑楽町立高島小学校、邑楽町立長柄小学校、邑楽町立中野東小学校	392
第3期	7.28-8.2	館林市立第一小学校、館林市立第二小学校、館林市立第三小学校、館林市立第四小学校、館林市立第五小学校	470
第4期	8.4-8.9	館林市立第六小学校、館林市立第七小学校、館林市立第八小学校、館林市立第九小学校、館林市立第十小学校	410
第5期	8.11-8.16	館林市立美園小学校、板倉町立東小学校、板倉町立西小学校、板倉町立南小学校、板倉町立北小学校	707
第6期	8.18-8.23	明和町立明和東小学校、明和町立明和西小学校、大泉町立南小学校、大泉町立北小学校	649

ポスター

展示会場

◎主要関連記事
(長文記事は末尾に＊、県内媒体の情報のみの記事は省略)

教育普及事業・その他

〔新聞等〕
・上毛新聞
10.23
「秋の夜に音色響く 館林美術館コンサート」
2.1
「絵画制作の基本 西邑楽高生に講義 館林美術館で大学准教授」
2.28
「版画テーマに学芸員が解説 県立館林美術館」〈ぶんか短信〉
3.5
「夜の美術館に華やかな歌声」

〔定期刊行物〕
・月刊さんさん
3月号
「今度ここ行こう！群馬県立館林美術館」
・美連協ニュース
2月号
「群馬県立館林美術館」＊
5月号「フランソワ・ポンポン作品調査」(群馬県立館林美術館　松下和美)
・美術館連絡協議会2018年度海外研修派遣 美術館活動助成〈報告集〉
「フランソワ・ポンポン作品調査」(群馬県立館林美術館　松下和美)
・婦人画報
4月号
「群馬県 フランソワ・ポンポン「シロクマ」」
・PRESIDENT MOOK 人に教えたくない「穴場」美術館 厳選103
2016年
「群馬県立館林美術館」〈穴場美術館1 自然がそばにある美術館〉

K　刊行物

◎群馬県立館林美術館平成30年度事業案内
B4判変形4つ折り
平成30年3月発行
発行部数　25,000部

L ボランティア

年間登録制のボランティア、「たてび★サポーター」は、主にワークショップの制作サポート、「たてび☆キッズウォーク」の受付サポート、館内の資料整理等を活動としている。その他、随時、活動に合わせた研修会を開催し、コミュニケーションを図りつつ、円滑な美術館の普及活動に貢献している。募集は通年で行い、今年度の登録数は53名である。

期日	名称	人数
4.28、7.12、1.26	研修会等	42
5.5、6.16	「アートカードで遊ぼう」	6
7.19、7.26、8.9、8.16	「みんなのアトリエ」制作サポート	26
5.13、6.10、8.19、11.19、12.2、2.3	「たてび☆びじゅつ部」制作サポート	37
5.5、6.16、7.28、8.4、9.29、10.20、11.17、12.15、1.26、2.23、3.23	「たてび☆キッズウォーク」サポート	30
2.2	「展覧会ポスタープレゼント」サポート	2
5.10、5.24、6.7、6.21、9.27、10.11、10.25、11.8、11.22、12.6、12.20、2.7、2.21、3.7、3.21	資料整理	41
3.16	あんだんて美術館×群馬県立館林美術館 「みんなで花と緑のまちを描こう！」	9

M 友の会(群馬県立館林美術館友の会)

1. 運営会議

(1)総会(6.16)

(2)理事会(6.16)

(3)運営委員会(4回 5.30、8.22、11.14、2.13)

事業の企画運営等具体的事項の協議

2. 美術館協力支援事業

(1)ミュージアムショップの運営

展覧会商品、図録、オリジナル商品、書籍その他の展示販売を通して来館者へのサービス向上に努めた。

(2)美術館への協力

ミュージアムショップの利益から書籍を寄贈

3. 会員対象事業

(1)美術館情報の提供(5.18、7.4、9.12、10.11、11.29、3.15)

展覧会や美術講座等の広報資料や、友の会からのお知らせ等を随時会員宛に送付した。

(2)コンサートの開催(10.19、2.1)

オータムコンサート 10月19日 演奏者:野島直人(元劇団四季)・星乃あんり(元宝塚歌劇団雪組)・間野亮子(ピアノ) 参加者135名

ニューイヤーコンサート 2月1日 演奏者:永山友美子(アイリッシュハープ) 参加者88名

(3)ミュージアム・ツアーの開催(9.19)

美術館訪問を通じて美術鑑賞と会員相互の親睦を深めた。参加者45名

訪問先 神奈川県立近代美術館〈葉山館〉 山口蓬春記念館

(4)館長レクチャー(11.11)

「群馬の人間国宝」 参加者16名

(5)アンケート事業

友の会の事業運営に役立てるため、DMにてアンケート用紙を配布し、年間通して意見・要望を募った。

A 美術作品

1. 作品収蔵状況　平成31年3月31日現在

作家区分	県内作家			国内作家			外国作家			総計
収蔵方法	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	
部門										
日本画	4	9	13	1	1	2	0	0	0	15
油彩その他	7	0	7	18	9	27	6	1	7	41
水彩・素描	10	6	16	3	0	3	8	6	14	33
版画	22	0	22	289	253	542	52	0	52	616
写真・映像	0	0	0	60	8	68	12	0	12	80
彫刻	5	8	13	4	5	9	125	1	126	148
染織・工芸	5	3	8	3	0	3	4	1	5	16
計	53	26	79	378	276	654	207	9	216	949

2. 平成30年度　収蔵作品

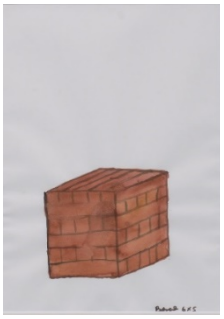
平成30年度においては、水彩・素描6点（寄贈 6点）、彫刻1点（寄贈1点）の計7点を新たに収蔵した。
以下、区分ごとに50音順に配列している。各作品データは、以下の順に記す。

・作者名（生没年）
・作品名
・制作年（日本人作家の場合は元号も付す）
・技法・材質（・形状）
・寸法（平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行、単位はcm）
・サイン、年記、その他の記載事項
・初発表展覧会および受賞記録
・受入種別
・受入番号

＜水彩・素描＞

ボスコ・ソディ（1970～）
Bosco SODI
無題(1)
2017-18年
水彩・紙
29.0×20.5
画面右下に数字とサイン「5×5 Bosco 17」
「ボスコ・ソディ″Terra è stata stabilita″」
（SCAI THE BATHHOUSE、東京、2018年）
作者寄贈
943

ボスコ・ソディ（1970～）
Bosco SODI
無題(2)
2017-18年
水彩・紙
29.0×20.5
画面右下にサインと数字「Bosco 6×5」
「ボスコ・ソディ″Terra è stata stabilita″」
（SCAI THE BATHHOUSE、東京、2018年）
作者寄贈
944



ボスコ・ソディ(1970～)
Bosco SODI
無題(3)
2017-18年
水彩・紙
29.0×20.5
画面右下にサインと数字「Bosco 7×5」
「ボスコ・ソディ"Terra è stata stabilita"」
(SCAI THE BATHHOUSE、東京、2018年)
作者寄贈
945

ボスコ・ソディ(1970～)
Bosco SODI
無題(4)
2017-18年
水彩・紙
29.0×20.5
画面右下にサインと数字「Bosco 8×5」
「ボスコ・ソディ"Terra è stata stabilita"」
(SCAI THE BATHHOUSE、東京、2018年)
作者寄贈
946

ボスコ・ソディ(1970～)
Bosco SODI
無題(5)
2017-18年
水彩・紙
29.0×20.5
画面右下にサインと数字「Bosco 9×5」
「ボスコ・ソディ"Terra è stata stabilita"」
(SCAI THE BATHHOUSE、東京、2018年)
作者寄贈
947

ボスコ・ソディ(1970～)
Bosco SODI
無題(6)
2017-18年
水彩・紙
29.0×20.5
画面右下にサインと数字「Bosco 10×5」
「ボスコ・ソディ"Terra è stata stabilita"」
(SCAI THE BATHHOUSE、東京、2018年)
作者寄贈
948

＜彫刻＞

ボスコ・ソディ(1970～)
Bosco SODI
立方体
2017年
粘土
50.0×50.0×50.0 (25個組)
各パーツ左側にサイン「Bosco」
「ボスコ・ソディ"Terra è stata stabilita"」
(SCI THE BATHHOUSE、東京、2018年)
作者寄贈
949

3. 平成30年度　寄託作品

作者名	作品名(＊新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横または高さ×幅×奥行
掛井五郎	人間の問題研究Ⅲ 四つの足	1985	ブロンズ	100.0 × 96.0 × 30.0
岡本健彦	風神・雷神	1993	油彩、鉛、ステンレススチール、カンヴァス、合板	183.0 × 200.0 × 398.0
三輪途道	YUUKO	1996-2004	檜、漆、膠、白土、顔料	153.0 × 48.0 × 25.0
三輪途道	野辺の王様	1998	檜、漆、膠、白土、顔料	125.0 × 32.0 × 40.0
三輪途道	温度－H.MIWA－	1999	檜、漆、膠、白土、顔料	99.0 × 57.0 × 37.0
三輪途道	縄文からの道	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	12.0 × 25.0 × 16.0
三輪途道	TOKYO-2000.1.12.Age60-	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	102.0 × 50.0 × 28.0
三輪途道	猿を待ってた日	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	23.0 × 16.5 × 23.0
三輪途道	下仁田―おじい	2003	檜、漆、膠、顔料	79.0 × 59.0 × 64.0
三輪途道	下仁田―おばあ	2003	檜、漆、膠、顔料	83.0 × 50.0 × 56.0

作者名	作品名(＊新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横または高さ×幅×奥行
三輪途道	おじいの宝Ⅱ(金歯の位置違い)	2003	檜、漆、金箔	3.0 × 7.5 × 5.0
三輪途道	おじいの抜け殻	2003	檜、漆、膠、顔料	14.0 × 44.0 × 38.0
三輪途道	猫の抜け道	2005	檜、漆、膠、顔料	25.0 × 68.0 × 14.0
三輪途道	発電所のなめくじ	2005	檜、漆、膠、白土、顔料	4.0 × 6.0 × 14.0
		2005	檜、漆、膠、白土、顔料	5.0 × 8.0 × 20.0
		2005	檜、漆、膠、白土、顔料	6.0 × 9.0 × 28.0
		2005	檜、漆、膠、白土、顔料	13.0 × 10.0 × 18.0
		2005	檜、漆、膠、白土、顔料	13.0 × 10.0 × 18.0
三輪途道	父子像	2007	檜、漆、膠、顔料	175.0 × 42.0 × 42.0
三輪途道	乳母と私Ⅱ	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	90.0 × 58.0 × 71.0
三輪途道	父子像Ⅱ	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	159.0 × 99.0 × 8.0
アルブレヒト・デューラー	書斎の聖ヒエロニムス	1514	エングレーヴィング・紙	24.4 × 18.8
奈良美智	Untitled	1990	アクリル・紙	49.3 × 34.2
加藤泉	無題	2000	油彩・カンヴァス	40.7 × 24.0
町田久美	ひとり	2003	墨・雲肌麻紙	130.0 × 97.0
田中敦子	Work	2004	パステル・紙	33.2 × 24.3
大竹利絵子	へび	2006	木	31.0 × 21.5 × 17.0
会田誠	トラウマンボーイ02	2007	パネル、色鉛筆、水彩絵具、油性マーカー・紙	36.5 × 51.5
カンノサカン	無題	2007	ウレタン、アクリル・パネルに貼られたカンヴァス	30.0 × 30.0
阪本トクロウ	バード	2007	アクリルガッシュ・雲肌麻紙	40.6 × 40.6
日野之彦	パーマ	2007	鉛筆・ケント紙、額装	103.5 × 72.5
松井冬子	同世代のエジプト人	2007	鉛筆・紙	43.7 × 36.7
松井冬子	トトメス4世	2007	鉛筆・紙	36.2 × 44.1
会田誠＆加藤愛	愛ちゃん盆栽(ほおずき)小料理屋にて	2008	ラムダプリント	86.8 × 125.0
川島秀明	stare	2008	アクリル・カンヴァス	50.0 × 72.7
Chim↑Pom	イケてる人達みたい02	2008	C-Print、DVD	31.0 × 31.0
日野之彦	縞の服	2008	鉛筆・紙	101.6 × 50.4
加藤泉	無題	2009	油彩・カンヴァス	33.3 × 24.0
日野之彦	二人は走る	2010	油彩・カンヴァス	259.1 × 193.9
日野之彦	見つめ合い	2011	油彩・カンヴァス	91.0 × 91.0
ロッカクアヤコ	Untitled ＊	2014	アクリル・段ボール	63.0 × 63.0
ロッカクアヤコ	Untitled ＊	2016	アクリル・段ボール	53.0 × 40.0
加藤泉	Untitled ＊	2017	ソフトビニール、金属	60.0 × 17.0 × 18.0
西尾康之	立像 ＊	不詳	ファイバープラスター	77.5 × 36.0 × 12.0
ロッカクアヤコ	Untitled ＊	2017	アクリル・カンヴァス	80.0 × 80.0
ロッカクアヤコ	Untitled ＊	2017	アクリル・カンヴァス	140.0 × 100.0
ロッカクアヤコ	Untitled ＊	2018	アクリル・スーツケース	47.0 × 71.0 × 18.0
西村盛雄	甘露の雨 マナ9	2002	木	37.0 × 220.0 × 220.0
勅使河原蒼風	群れ	1953	鉄	103.0 × 184.0 × 57.0
勅使河原蒼風	ビーナス	1957	木	68.0 × 65.0 × 54.0
勅使河原蒼風	クビ	1962	木	129.5 × 62.5 × 30.0
勅使河原蒼風	わかれ	1963	鉄	120.0 × 33.0 × 32.5
勅使河原蒼風	クサナギ	1967	銅	252.5 × 64.5 × 50.0
勅使河原蒼風	ミコ	1967	銅	96.0 × 49.0 × 25.0
勅使河原蒼風	題不詳	不詳	銅	44.0 × 53.0 × 48.0
坂本幸重	鮭 ＊	2003	紙本着色・額装	60.0 × 100.0
林茂樹	00-XVIII ＊	2017	磁器	40.0 × 80.0 × 38.0
下川勝	星あかり ＊	1974	アクリル、水彩、グワッシュ、金泥、銀泥・紙	10.0 × 10.0
下川勝	水の神話 ＊	1975	アクリル、水彩、グワッシュ、金泥、銀泥・紙	10.0 × 10.0
長重之	笑い続ける二つの州の間で ＊	1990	断熱材、布、木、アクリル絵具	242.0 × 170.0 × 11.5
長重之	笑い続ける二つの州の間で ＊	1990	断熱材、布、木、アクリル絵具	200.0 × 146.0 × 11.5
ボスコ・ソディ	Untitled ＊	2016	ミクストメディア・カンヴァス	200.0 × 200.0
藤牧義夫	関連資料 全21点			

作者名	作品名(* 新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横または高さ×幅×奥行
清宮質文	むかしのはなし	1958	木版・紙	8.1 × 16.6
清宮質文	葦	1958	木版・紙	21.6 × 18.7
清宮質文	古い日	1960	木版・紙	17.2 × 14.4
清宮質文	幼きもの	1963	木版・紙	24.0 × 21.4
清宮質文	蝶	1963	木版・紙	24.7 × 22.2
清宮質文	眠り	1966	木版・紙	19.8 × 27.8
清宮質文	夏の終り	1967	木版・紙	10.4 × 22.3
清宮質文	九月の海辺	1970	木版・紙	13.4 × 23.4
清宮質文	歳月	1970	木版・紙	18.3 × 25.8
清宮質文	北辺の小屋	1971	ガラス絵	15.6 × 21.4
清宮質文	暗い夕日(版画集『暗い夕日』1)	1972	木版・紙	21.5 × 19.3
清宮質文	冬(版画集『暗い夕日』2)	1972	木版・紙	23.2 × 22.0
清宮質文	トンネルの出口(版画集『暗い夕日』3)	1972	木版・紙	23.5 × 20.0
清宮質文	虜囚の窓(版画集『暗い夕日』4)	1972	木版・紙	24.6 × 20.0
清宮質文	夕方の静物(版画集『暗い夕日』5)	1972	木版・紙	23.3 × 22.0
清宮質文	窓のカンテラ(版画集『暗い夕日』6)	1972	木版・紙	24.4 × 14.3
清宮質文	入日(版画集『暗い夕日』7)	1972	木版・紙	16.2 × 25.8
清宮質文	町外れ(版画集『暗い夕日』8)	1972	木版・紙	13.8 × 22.4
清宮質文	夕日の静物(版画集『暗い夕日』9)	1972	木版・紙	13.9 × 22.3
清宮質文	壜の中の魚(版画集『暗い夕日』10)	1972	木版・紙	20.2 × 22.6
清宮質文	窓のランタン	1972	木版・紙	24.4 × 14.2
清宮質文	深夜の蝋燭	1974	木版・紙	17.8 × 15.1
清宮質文	星占(去りゆく凶星)	1975	木版・紙	15.2 × 17.9
清宮質文	秋の夕日	1976	木版・紙	16.0 × 14.3
清宮質文	作品	1981	水彩・紙	9.8 × 16.1
清宮質文	われむかしの日いにしえの年をおもえり	1982	木版・紙	15.1 × 13.0
清宮質文	黒夜の鳥	1982	木版・紙	13.9 × 17.5
清宮質文	夢の中へ	1983	木版・紙	15.7 × 6.9
清宮質文	失題	1983	モノタイプ・紙	20.8 × 16.2
清宮質文	失題	1983	モノタイプ・紙	19.5 × 11.7
清宮質文	失題	1983	モノタイプ・紙	21.2 × 16.2
清宮質文	秋の午後	1985	木版・紙	11.0 × 23.4
清宮質文	なんじの革嚢にわが涙を	1985	木版・紙	17.8 × 16.8
清宮質文	夕日のとり	1985	木版・紙	7.9 × 16.0
清宮質文	晩夏	1985	木版・紙	6.8 × 7.0
清宮質文	月と運河(試作)	1987	木版・紙	16.3 × 16.5
清宮質文	未完(絶筆)	1991	水彩・紙	20.8 × 24.5
清宮質文	未完(絶筆)	1991	水彩・紙	22.3 × 30.0
清宮質文	冬の夕(絶筆)	1991	ガラス絵	12.3 × 16.2
清宮質文	未完(絶筆)	1991	ガラス絵	12.4 × 16.5
中平四郎	讀賣	1924	木彫	60.0 × 34.0 × 25.0
長重之	視床～青	1995	木、布、アクリル絵具	100.0 × 162.0 × 7.0
長重之	視床	2010	水彩、コラージュ・紙	92.5 × 116.0
山口啓介	花の心臓 / 炭素原子モデル	2003	顔料、樹脂、自家製樹脂、アクリル・カンヴァス	270.0 × 181.0
山口啓介	花の心臓 / 蕊柱	2003	油彩・カンヴァス	270.0 × 181.0
大森暁生	Swan in the frame (Type-A)	2006	檜、漆、彩色、ステンレス、アガチス、銅	70.0 × 130.0 × 67.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品 1	不詳	樹皮、木、イノシシの骨	130.0 × 146.0 × 6.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品 4	不詳	樹皮、木	110.0 × 147.0 × 15.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品 5	不詳	樹皮、木	135.0 × 65.0 × 7.0
スタン・アンダソン	犬の散歩道－暮坂高原古道再生プロジェクト(部分)	2015	樹皮	180.0 × 290.0 × 25.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品(六合の地図)	不詳	樹皮	108.0 × 110.0 × 7.0
スタン・アンダソン	立体作品	不詳	樹皮、木、動物の骨	186.0 × 136.0 × 100.0
スタン・アンダソン	動物の絵柄の紙漉き作品 14点	不詳	樹皮、貝殻	直径 約30
スタン・アンダソン	ドローイング 1	不詳	パステル・紙	54.0 × 40.0
スタン・アンダソン	ドローイング 2	不詳	パステル・紙	54.0 × 40.0
スタン・アンダソン	ドローイング 3	不詳	パステル・紙	79.0 × 109.0
スタン・アンダソン	ドローイング 4	不詳	墨・紙	79.0 × 109.0
スタン・アンダソン	ドローイング(11点)	不詳	鉛筆・紙	30.0 × 23.0
	スタン・アンダソン旧蔵書籍(21冊)	不詳		

作者名	作品名(* 新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横または高さ×幅×奥行
伊藤博敏	ZIP STONE Metal Age	2013	自然石・ファスナー・ステンレス球	12.0 × 13.0 × 7.5
大坂秩加	あなたに縁起のいい門出を	2010	リトグラフ・紙	25.0 × 16.0
大坂秩加	ちょっと高い合コン	2011	アクリル・水彩・色鉛筆・チョーク・麻布	70.0 × 50.0
大坂秩加	カップヌードルをすする	2012	アクリル・水彩・色鉛筆・白亜地・パネル	120.0 × 90.0
上根拓馬	27ガーディアンズ 大弁功徳天	2010	エポキシ樹脂、レジンキャスト	15.0 × 15.0 × 30.0
上根拓馬	28ガーディアンズ 那羅延堅固	2010	エポキシ樹脂、レジンキャスト	15.0 × 15.0 × 30.0
上根拓馬	28ガーディアンズ 那羅延堅固	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト	25.0 × 25.0 × 55.0
上根拓馬	28ガーディアンズ 密遮金剛力士	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト	25.0 × 25.0 × 55.0
上根拓馬	12ガーディアンズ no.2 伐折羅大将	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト、ミクストメディア	15.0 × 15.0 × 30.0
上根拓馬	12ガーディアンズ the Devas no.7 毘沙門天	2013	エポキシ樹脂、レジンキャスト、ミクストメディア	25.0 × 25.0 × 43.0
白石綾子	room of womb	2010	アクリル、油彩・パネル	120.0 × 120.0
樽谷タカシ	妖怪力車	2011	アクリル、金箔・木製パネル	33.3 × 53.1
中井章人	引きずりの観測	2010	ミクストメディア	11.0 × 11.0 × 12.5
にしはら あずさ	グレタ	2010	油彩・コットンクロスパネル	41.0 × 31.8
にしはら あずさ	あの子と逸れた	2011	油彩・コットンクロスパネル	162.1 × 112.1
深沢幸雄	骨疾D	1955	エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙	24.2 × 18.1
深沢幸雄	母子像	1956	メゾチント・紙	23.3 × 36.7
深沢幸雄	橋	1958	エッチング、ディープエッチング、ソフトグランドエッチング、シュガーアクアチント・紙	36.5 × 31.8
深沢幸雄	新しい夜	1961	エッチング、ディープエッチング、アクアチント、メゾチント・紙	36.5 × 34.0
深沢幸雄	假面	1961	エッチング、ディープエッチング、アクアチント、シュガー・アクアチント・紙	29.9 × 19.2
深沢幸雄	残像	1961	エッチング、ディープエッチング、ソフトグランドエッチング、シュガーアクアチント、ドライポイント・紙	30.0 × 36.5
深沢幸雄	望郷	1962	エッチング、ディープエッチング、アクアチント、シュガーアクアチント・紙	23.2 × 13.4
深沢幸雄	憂愁の裸像	1992	エッチング、ディープエッチング、アクアチント、メゾチント・紙	36.1 × 69.2
町田久美	招き猫	不明	ミクストメディア	7.5 × 8.5 × 14.0
町田久美	らんちゅうタクシー	1998	スクリーンプリント・紙	87.0 × 42.7
町田久美	赤い衣装	2010	青墨・岩絵具・顔料・雲肌麻紙	22.8 × 16.5
町田久美	オモチャ	2011	ガッシュ、デジタルプリント・紙	29.4 × 39.0
町田久美	a year	2012	岩絵具・リキテックス・鉛筆・カンヴァス	10.0 × 10.0
町田久美	鞭	2012	和紙・鉛筆・色鉛筆・オイルパステル	30.0 × 21.0
町田久美	前夜	2013	エッチング、リトグラフ、金箔(手彩色)・和紙	22.7 × 19.2
町田久美	前夜	2014	エッチング、リトグラフ、金箔(手彩色)・和紙	22.7 × 19.4
三宅砂織	ベッドルーム2	2008	ゼラチン・シルバー・プリント	70.0 × 70.0

作者名	作品名(* 新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横または高さ×幅×奥行
山口長男	人(Ⅲ)	1980	リトグラフ・紙	58.0 × 43.0
山田純嗣	10-11 FLOWERS	2010	ポリコートパネル・印画紙・樹脂・パールペイント・インタリオ・オン・フォト	65.0 × 65.0
山中現	流れ星	1981	木版・紙	48.8 × 36.5
山中現	後に大きく	1982	木版・紙	15.5 × 22.6
山中現	ニョロニョロ	1982	木版・紙	15.4 × 22.6
山中現	まど	1982	木版・紙	46.0 × 32.2
山中現	7	1983	木版・紙	24.8 × 25.8
山中現	二つの雲	1984	木版・紙	20.3 × 15.4
山中現	夜話	1986	木版・紙	52.4 × 40.0
山中現	夜にⅡ	1986	木版・紙	27.0 × 19.2
山中現	星夜Ⅳ	1987	木版・紙	69.2 × 48.3
山中現	星の道	1989	木版・紙	42.5 × 31.6
山中現	二つの時	1993	木版・紙	48.4 × 66.5
山中現	カタチノアツマルバショ	1994	木版・紙	24.5 × 35.0
山中現	4つの場所	1998	油絵・カンヴァス	45.5 × 37.8
山中現	雲の記号	2000	木版・紙	49.1 × 62.9
山中現	みどりのかたち	2000	木版・紙	62.6 × 49.0
山中現	陰の刻	2005	木版・紙	51.8 × 45.0
山中現	冬の日	2006	ガラス絵	14.5 × 9.8
山中現	ひとつのみどり	2006	ガラス絵	14.5 × 9.8
山中現	ひとつの茶色	2006	ガラス絵	9.8 × 14.5
山中現	時のかたち	2007	油絵・カンヴァス	40.8 × 31.8
横尾忠則	予兆の刻1	1989	シルクスクリーン・紙	62.5 × 70.0
森田恒友	漁村図	未詳	紙本墨画・軸	94.5 × 90.0
岸浪百草居	画巻(魚など)	未詳	紙本著色・巻子	24.0 × 625.9
津田青楓	山高水長画巻	1937	紙本著色・巻子	30.2 × 538.2

4. 館蔵作品貸出状況

4-1. 館蔵作品貸出状況

作者名	作品名(* 寄託作品)	貸出先	展覧会名	会場・会期
フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥 雉鳩 フクロウ シロクマ 大黒豹 カバ ライオン「メネリク」	東京都庭園美術館	エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し	東京都庭園美術館 10.6-1.14 群馬県立館林美術館 1.22-3.31
南桂子	2羽の鳥と落葉 春の野原 月 船と魚 巣と鳥 海の塔 城と月 羊飼の少女 魚と落葉 鳥とどんぐり 子どもと花束と犬 サン・ドニ=ル・フェルマン 鳥と魚 街の門 みみづく 城と睡蓮 風船売りの少女 馬のいる風景 初冬の木	神戸市立小磯記念美術館	浜口陽三と南桂子展 ―ふしぎな世界への小さな窓―	神戸市立小磯記念美術館 7.14-9.2

5. 保存・修復

作者名	作品名	技法・材質	種別	処置内容
バリー・フラナガン	鐘の上の野兎	ブロンズ	彫刻	ブロンズ表面コーティング
小林孝亘	Cloud	油彩・カンヴァス	絵画	亀裂接着、補彩、画面洗浄

B 図書資料その他

平成30年度 収蔵図書

種類区分	一般図書	定期刊行物	カタログ	年報目録	研究報告	その他	計
購入	156	71	40	0	0	0	267
寄贈	186	92	661	123	119	2	1,183
計	342	163	701	123	119	2	1,450

職員名簿

（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

館長	佐々木正直
副館長	武井俊彦

〈教育普及係〉

教育普及係長	山崎雅史
主幹(事)	平野由紀夫
主幹(事)	田口博文
主幹(事)	齊藤由紀子
主幹（学芸員）	熊谷ゆう子
教育普及員	齋藤久美子
	羽鳥あゆみ
	竹渕典子
	松本梨江
	長井みずき

〈学芸係〉

学芸係長	松下由里
主幹(学芸員)	松下和美
主任(学芸員)	野澤広紀
学芸員	佐原しおり
資料整理員	徳江庸行
	伊羅子典代